



「わかる・できる・つなげる・いかす」算数の学び

# 令和6年度版 小学算数

## 内容解説 資料



本資料は内容解説資料として、一般社団法人教科書協会「教科書発行者行動規範」に則っております。

日文の新版教科書情報  
詳しくはWebへ!

日文

検索



未来をなう子どもたちへ  
**日本文教出版**

※本冊子掲載二次元コードのリンク先コンテンツは予告なく変更または削除する場合があります。







# み~つけた!!

全学年の表紙をつなぐと現れる算数の街

“Smart Math Town”

そこには、子どもたちの心を動かす

たくさんの驚きや発見が詰まっています。

「算数の楽しさに気づき、生活へいかしてほしい」

「学びを“未来をひらく力”としてほしい」

『小学算数』には、そんなメッセージが込められています。

もくじ

CLOSE-UP 特集 1 GIGAスクール構想の推進に向けて 6

- 豊富なデジタルコンテンツ 6
- プログラミングを全学年に 9

CLOSE-UP 特集 2 異なる校種間の連携のために 10

- 幼保小連携のくふう 10
- 小中連携、教科担任制へのくふう 12

CLOSE-UP 特集 3 個別最適な学びの実現 14

編集の基本方針・教科書の構成 16

● 基本方針 1 自分で考え、みんなで学び合うことを楽しめます。 21

● 基本方針 2 たしかな基礎力が自信につながります。 29

● 基本方針 3 身近に算数を感じ、幅広くいかせます。 37

見やすくわかりやすい紙面	42	領域別系統表	56
現代的な諸課題への取り組み	44	表現(図)の取り扱いと系統	64
年間指導計画案	46	デジタル教科書・デジタル教材	68
教科書検討の観点から見た内容の特色	48	教師用指導書	70



1年  
公園の遊具が、「0~9までの数字」をかたどっています。また、いろいろな形が学校や建物にちりばめられています。

2年  
液体の入った工場や建物が、「水のかさ」をイメージさせます。九九を連想させるブロックや並木などもあります。

3年  
コンパスや丸い展望台などが「円と球」を表しています。「分数」や「重さ」をイメージさせる建物もあり、窓には棒グラフが映っています。

4年  
「折れ線グラフ」をイメージさせる屋根やソーラーパネル、「平行四辺形」のビル、「角度」をはかる分度器の橋などがあります。

5年  
「角柱と円柱」がいろいろな建物として表されています。「速さ」をイメージさせる乗り物や、「円周率」が刻まれた屋上もあります。

6年  
6年で最初に習う「対称な図形」となる「MATH」のオブジェや、「拡大図と縮図」を表した入れ子細工の人形があります。

ほかにたくさんの「算数のワクワク」が隠れているよ!



# GIGAスクール構想の推進に向けて

## 豊富なデジタルコンテンツで「個別最適な学び」を実現!

1人1台端末環境での学びを支えるために、デジタルコンテンツを充実させました。教科書の紙面に掲載された二次元コードを読み取ることで、どこにいてもウェブ上のコンテンツを利用できます。

＼詳しくは動画へ／



＼うごかす／ ← コンテンツの種類がわかるように見出しをつけました。



総数 **838** 個のデジタルコンテンツを用意しています。

ヒントと答え	「次の学習のために」のページに設置し、問題を解くヒントや答えをすべての問題に表示します。	263 (個)
動かす	図形のしきつめに何度も取り組む、立体図形を自分で回転させる、数直線を使って問題を解くなど、さまざまな操作を通して理解を深めます。	139
見る	用具の使い方や筆算の方法など、動画やアニメーションなどで直感的な理解を促しています。	197
かくにん	算数の定義や用語の意味を確認することができます。	22
Web	学習を深めるために役立つ関連サイトへのリンクをはっています。	22
ブロック	ブロックを自由に並べて、数の理解を助けます。(1、2年)	36
きく	1年①の冒頭の「読みきかせ」や、2年の九九の「読み上げ」など、音声で理解を助けます。	11
練習	学習した「計算の型」にくり返し取り組める練習問題です。正誤判定機能が付いています。	148

令和2年度版から大幅に増加しました! 合計 **838**

インターネットを使うときは、先生や家の人に相談してから使いましょう。

情報モラルに配慮した、子どもたちへの呼びかけの言葉を掲載しています。



3年上p.10

## 学習をふり返るコンテンツ

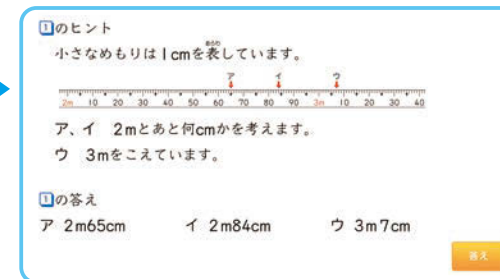
### 既習事項のふり返り

ヒントと答え

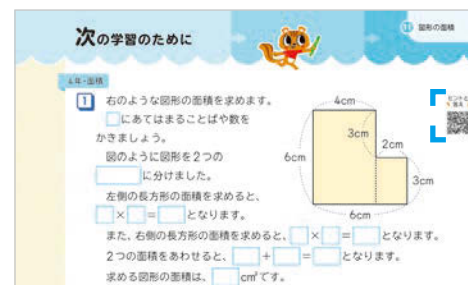
新たな単元にはいる前に、既習事項を確認する「次の学習のために」では、自学自習できるよう、個々の問題すべてに「ヒントと答え」を用意しました。



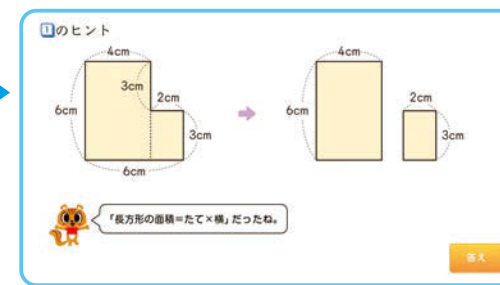
3年下p.35



ヒントと答え



5年p.149



ヒントと答え



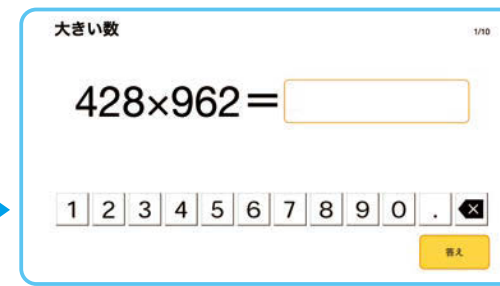
### 練習問題

練習

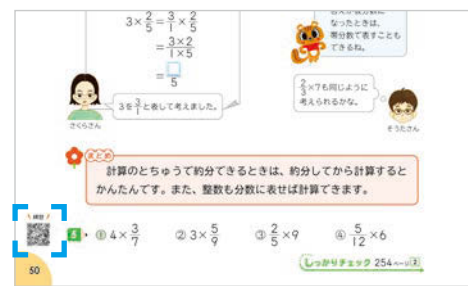
計算の学習では、くり返し練習できるように、すべての練習問題に「計算の型」に対応したドリルを用意しました。



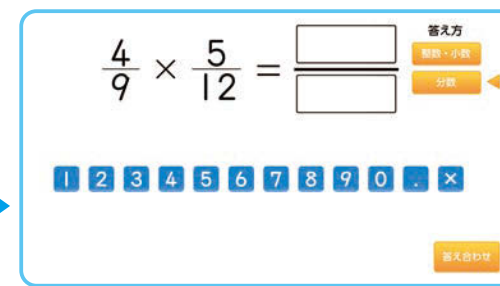
4年上p.21



練習



6年p.50



練習



デジタルコンテンツで  
自学自習が  
スムーズだね!



GIGAスクール

校種間の連携

個別最適な学び

教科書の構成

基本方針 ①

基本方針 ②

基本方針 ③

配慮

資料



## 理解を深めるコンテンツ

### 筆算のアニメーション

見る

計算の基礎となる筆算すべてにアニメーションをつけ、子どもたちの理解をサポートしています。

28×3の筆算のしかた

一の位の計算 十の位の計算

28  
× 3  
—  
84

28  
× 3  
—  
24  
60  
—  
84

•三八 24  
2くり上げる。

•三二が6  
6+2=8

28  
× 3  
—  
24… 8×3  
60… 20×3  
—  
84

3年下p.12

### 図形のシミュレーション

動かす

立体を回転させる、切断するなど、現実では実現しにくい操作を確認できるようにしました。

①と②は、横の長さも高さもちがうね。どのようにして比べたいかな。

1 直方体と立方体の体積

1 上の①の直方体と②の立方体のかさ、どちらが

5年p.19

### 数直線ツール

動かす

(4,5,6年)

子どもが特につまずきがちな「割合」の問題では、考える手立てとして数直線をかきツールを用意しました。

2 今週、ともやさんのサッカーの試合を見に来た人は90人でした。これは、先週の試合を見に来た人の120%にあたります。先週の試合を見に来た人は何人ですか。

観客数 割合

もとにする量 比べる量 (人)

5年p.220

見る



28×3の筆算のしかた

十の位の計算  
•三二が6  
6+2=8

28  
× 3  
—  
24… 8×3  
60… 20×3  
—  
84

3年下p.12

動かす



図形が回転します。分割線を選択すると図形を切れます。

5年p.19

動かす



2 今週、ともやさんのサッカーの試合を見に来た人は90人でした。これは、先週の試合を見に来た人の120%にあたります。先週の試合を見に来た人は何人ですか。

観客数 割合

0 90 (人)

0 1 1.2

5年p.220

## プログラミングを全学年に レッツプログラミング

プログラミング的思考を育むためのページ、「レッツプログラミング」を全学年に設けました。プログラミング的思考について段階的に学習できます。また、日常生活と算数の学習を結びつけて取り組めるような構成になっています。

視覚的・操作的で  
理解しやすい  
コンテンツだね。



2,3,4年

左のページで日常生活と関連する題材  
右のページで学習内容と関連する題材を取り上げました。

日常生活

レッツプログラミング

すぐろくのルールを固に表そう!

スタート

すぐろくは、次のようなルールで遊びます。

すぐろくのルール

1 さいころをひいて、出た目の数だけ進む。

2 止まったマスに指示があったら、したがう。

3 ゴールしたら終わり。

4年下p.134-135

算数の学習内容

レッツプログラミング

アルゴリズムってなあに?

「アルゴリズム」という言葉を聞いたことはありますか。アルゴリズムとは、ある問題を解決する手順や計算方法のことです。算数では、いろいろな場面でアルゴリズムが登場します。4上83ページで学習した、ある数を五回足して、上から2けたのがい数にする手順も、アルゴリズムのひとつです。

ある数を五回足して、上から2けたのがい数にするアルゴリズムを考えています。

□に1から9の数字を入れて、フローチャートを作成させましょう。

スタート

上から2けたの数字をひく

ひいた数字が  
いいえ  
はい

上から2けたの数字をひく  
いいえ  
はい

上から2けたの数字をひく  
いいえ  
はい

上から2けたの数字をひく  
いいえ  
はい

上から2けたの数字をひく  
いいえ  
はい

上から2けたの数字をひく  
いいえ  
はい

4年下p.134-135

5,6年

プログラミング言語「Scratch」を使って、実際にプログラムを考えられるように課題を設定しました。

Web



レッツプログラミング

ロボくんとお話かきしよう!

右の図は、ロボくんが正方形をかきかいてつくった絵です。ロボくんは、次の手順でこの絵を完成させました。

1 ペンをひいて下向き。

2 左側の辺が50歩の正方形をかき。

3 時計回りに45度向きを変える。

4 ②と③を7回くり返す。

1 右のカードをならべて、ロボくんのお話かきを表す絵を完成させましょう。

スタート

ペンを下ろす

8回くり返す

50歩動かす

8回くり返す

時計回りに90度まわす

4回くり返す

時計回りに45度まわす

くり返しは、「くり返し」と「くり返し終わり」をセットで使います。

6年p.202-203

コンピュータに「どのようにしてほしい」と仕事ややり方がかいたものをプログラムといいます。

2 右の図は、ロボくんのお話かきのフローチャートをScratchというプログラミング言語を使って表したものです。

スタート

ペンを下ろす

8回くり返す

50歩動かす

8回くり返す

時計回りに90度まわす

4回くり返す

時計回りに45度まわす

くり返しは、「くり返し」と「くり返し終わり」をセットで使います。

6年p.202-203



# 異なる校種間の連携のために

## 幼保小連携のくふう

## これまでの生活と算数を

## 絵本の読みきかせでつなぐ

「かずやかたちでたのしく」では、幼児期の活動と算数のつながりが絵本仕立てで描かれています。

『これまでの生活の中にも算数がかくれていたんだ!』という子ども自身の気づきから、学習への期待と安心感を抱けるようにしました。

就学前の活動の  
ふり返り

1つのお話として展開

算数の学習内容

ページ	内容
表2-p.1	絵本の導入
p.2-p.3	数と計算領域に関わりのある就学前の活動
p.4-p.5	図形領域に関わりのある就学前の活動
p.6	測定領域に関わりのある就学前の活動
p.7	データの活用領域に関わりのある就学前の活動
p.8-p.9	集合づくり
p.10-p.11	線で結ぶ1対1対応
p.12-p.13	おはじきを使った1対1対応

### 文字が未習でも安心

二次元コードを読み取ると、お話の音声を聞くことができます!



1年①表2

### 中綴じ採用

教科書に直接書きこみやすく、紙面の上でブロック操作もしやすいよう、開きやすい中綴じを採用しました。



1年①p.15

## 就学前の活動のふり返り



小学校に入学する前の生活でも算数があったんだね。

### 数と計算領域 p.2-3



なわとびは  
何回とべたかな?

すばこに鳥は  
何羽来たかな?

### 図形領域 p.4-5



粘土で箱の形を  
つくったよ!

折り紙でも  
いろいろな形を  
つくったね!

### 測定領域 p.6

### データの活用領域 p.7



さつまいもの  
大きさをくらべを  
したこともあるね。

葉っぱの大きさで  
なかま分けも  
したよ!

GIGAスクール

校種間の連携

個別最適な学び

教科書の構成

基本方針 ①

基本方針 ②

基本方針 ③

配慮

資料

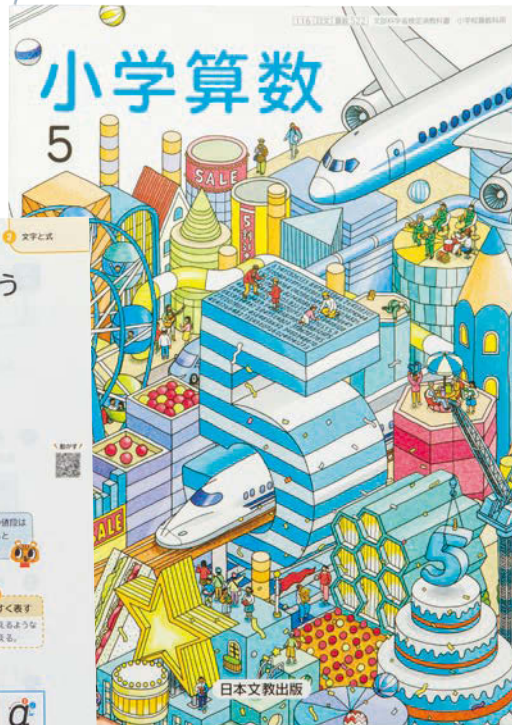


## 小中連携、教科担任制へのくふう

学びの現在地を示すスピンをつけました!

5年、6年の教科書は、既習事項をふり返りやすく、1年間を見通した学習ができるように、中学校数学と同じ1年間1冊の合本構成にしました。また、高学年での教科担任制をふまえ、スピ

教科書  
初採用



子どもにとって

教科書のどこを学習しているかがひとめでわかります。

先生方にとって

学級担任の先生と教科担任の先生が授業の進度や子どものわからない点を共有できます。



## マテマランドを探検しよう! 6年

小学校で学んだことを、数学の世界へとつなげるコーナーです。子どもたちの興味や関心に応じて探究的な学習が進められます。



数学の世界へのつながりに心が躍るね。



6年p.208-209

## 中学接続マーク 5,6年

5年、6年で特に必要と思われる単元にマークをつけ、スパイラルに学習する意識を持てるようにしました。



5年p.75

## もうすぐ中学生 6年

数学の内容に簡単に触れ、小・中学校間の円滑な接続を目指しました。



6年p.243

GIGAスクール  
校種間の連携  
個別最適な学び  
教科書の構成  
基本方針1  
基本方針2  
基本方針3  
配慮  
資料



# 個別最適な学びの実現

2021年1月の中央教育審議会の答申では、「全ての子供たちの可能性を引き出す、個別最適な学びと、協働的な学びの実現」がうたわれています。

これからは、子ども一人ひとりの興味・関心などに応じた学習活動や、学習課題に取り組む機会となる「個別最適な学び」、子ども同士、あるいは多様な他者と協働しながら探究的な学習を行う「協働的な学び」が求められます。

## 指導の個別化・学習の個性化

巻末の「算数マイトライ」は、子ども一人ひとりの実態に応じて柔軟に取り扱うことができ、習熟度別指導などでも活用できます。

8 円の面積 答え→285ページ

115ページ 1 下ののような円の面積を求めましょう。

① ② ③

2cm 6cm 12cm 8cm

1 円周の長さが50.24 cmの円があります。  
① この円の半径は何cmですか。  
② この円の面積を求めましょう。

6年p.258

ぐっと チェレンジ

1 対称な図形

2 文字と式

3 分数のかけ算とわり算

4 分数のかけ算

6年p.264-265

もっと ジャンプ

スポンジケーキをつくらう

1 いろいろな図形の面積

6年p.274-275

もっと ジャンプ

複数の単元を横断した探究的な問題です。

## 「協働的な学び」との一体的な充実

教科書のさまざまなところで「個別最適な学び」と「協働的な学び」を一体的に実現する場面を設定しています。



個別最適な学び

身近にある問題をとらえて課題とする

調べたことを発表しよう

協働的な学び

3 身のまわりのことを調べて、表にまとめたり、グラフに表したりしてみましょう。

1 どんなことを、どのように調べようか考えましょう。

2 調べましょう。

3 調べたことをどのように整理するか考えましょう。

4 調べたことを発表しよう。

3年上p.78-79

個別最適な学び

既習事項を使って自分で面積の求め方を考える

自分の考えを説明し、面積の求め方をみんなで話し合う

協働的な学び

3 いろいろな図形の面積

1 下の台形の面積を求めましょう。

2 台形の面積を計算して求める方法を考えよう。

5年p.163-165

ぐっと チェレンジ

各単元に対応した応用的・発展的な問題です。



筋道立てて考え  
表現するための学び方を  
はっきり示します。

主体的・対話的で  
深い学びの実現

1

## 編集の基本方針

「どうしてかな?」「こうじゃない?」

「なるほど」「わかった!」

算数の時間には、子どもたちから  
いろいろな声が聞こえてきます。

それは、算数の中に、考えるおもしろさ、  
発見する喜び、理解できたときの充実感など、  
心が動く瞬間がたくさんあるからです。

その瞬間こそが子どもの学力を育てると信じ、  
私たちはこの教科書を編集しました。

3

算数の楽しさやよさを  
しっかり  
感じられるようにします。

生活や学習への  
活用場面の充実

## 算数の学び

2

「わかる・できる・つなげる・いかす」

生活や学習の  
基盤となる算数の礎を  
きっちり築き上げます。

基礎的・基本的な力の  
確実な定着



1

自分で考え、  
みんなで学び合うことを  
楽しめます。



2

たしかな基礎力が  
自信に  
つながります。



3

身近に算数を感じ、  
幅広く  
いかせます。





## 巻頭



さあ、算数の学習をはじめよう!  
授業開きとして使える最初のページ  
→ 本資料 p.22

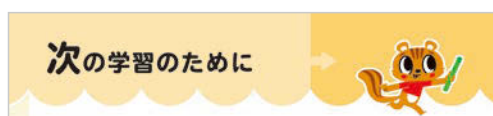


算数ノートをつくろう  
算数のノートのかき方をくわしく説明したページ  
→ 本資料 p.23



教科書の使い方  
教科書に配置されたコーナーの役割、  
マークの意味をまとめたページ

## 単元



次の学習のために  
新しい単元にはいる前に  
既習事項の確認ができるページ  
→ 本資料 p.32



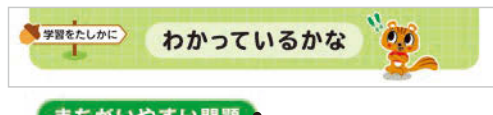
単元アプローチ  
各単元に対応した、子どもたちの好奇心に  
働きかけるページ  
→ 本資料 p.38



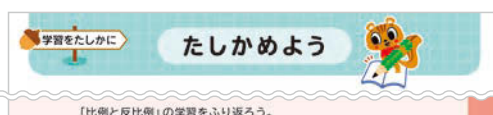
自分で みんなで  
「主体的・対話的で深い学び」を実現するページ  
→ 本資料 p.24



使ってみよう  
学んだことを生活にいかすページ  
→ 本資料 p.38



わかっているかな  
単元で学んだ内容を見直すページ  
子どもがつまづきやすい問題  
「見方・考え方をみがこう」  
数学的な「見方・考え方」を価値づける問題  
→ 本資料 p.34



たしかめよう  
単元で学んだ内容の定着・確認を図るページ  
→ 本資料 p.35



〇〇の学習をふり返ろう。  
単元全体の学習のふり返り  
→ 本資料 p.28

## マークの紹介

1 新しい問題

1時間の「めあて」と「まとめ」  
→ 本資料 p.26

見方・考え方 算数で使いたい  
「見方・考え方」 → 本資料 p.27

定義(用語・記号)

1 練習問題 → 本資料 p.33

うごかす  
デジタルコンテンツ  
→ 本資料 p.6

電卓を使ってもよい問題  
(4、5、6年)

中学  
中学接続マーク  
(5、6年) → 本資料 p.13

## 特設



算数ジャンプ  
学んだ内容を深める問題や、他教科や  
日常生活と結びつけた問題を扱うページ  
→ 本資料 p.39



たすのかな ひくのかな  
どんない計算になるか考えよう  
問題を読み、どんな式を立てるか考える  
演算決定のページ



レッツプログラミング  
プログラミング的思考のページ  
→ 本資料 p.9



なるほど算数  
算数に関わるさまざまな話題を  
取り上げたページ

復習  
学期ごとの学習内容を  
確認する復習ページ  
→ 本資料 p.34

〇年の復習  
学年全体の学習内容を  
確認する復習ページ  
→ 本資料 p.34



マテマランド探検しよう! (6年)  
小学校の学習内容を数学の世界へと  
広げるコーナー  
→ 本資料 p.13



もうすぐ中学生 (6年)  
中学校数学の内容に  
簡単に触れるコーナー  
→ 本資料 p.13



巻末

**算数マイトライ** 家庭学習や学校でのさまざまな場面に利用できる豊富な問題



**しっかりチェック**  
各時間に対応した補充問題  
(難易度別構成)



**ぐっとチャレンジ**  
各単元に対応した  
応用的・発展的な問題



**もっとジャンプ**  
複数の単元の内容を横断した  
探究的な問題

→ 本資料 p.14.40



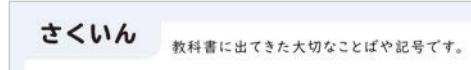
**〇〇までに学習したこと**  
前学年または前巻の教科書までに  
学習したことを一覧にしたページ

→ 本資料 p.33



**よみとろう あらわそう**  
ことばと図・式の関係や、テープ図・数直線図の  
よみ方・かき方をまとめたページ

→ 本資料 p.35



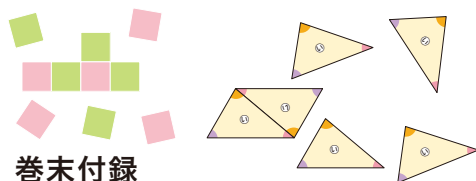
**さくいん**  
教科書に出てくる大切なことばの一覧

巻末シート



**学び方ガイド**  
学び方の4ステップを  
まとめたシート

→ 本資料 p.26



**巻末付録**  
切り取って使える巻末付録



**算数で使いたい  
見方・考え方**  
「見方・考え方」を  
整理した一覧

→ 本資料 p.27

いっしょに算数を学習する友だち



各学年6人の友だちが、見通しを立てたり、自分の考えを发表或して、  
一緒に学習していく設定になっています。  
クリンは、活動を示唆したり、作業内容の確認を促したりして、学習活動をサポートします。

1

自分で考え、  
みんなで学び合うことを  
楽しめます。

- 算数の学習の進め方を明確に 22
- 主体的・対話的で深い学びの実現 24
- ひとめでわかる学習の流れ 26
- ふり返りの充実 28





# 算数の学習の進め方を明確に

## さあ、算数の学習をはじめよう！

各学年の巻頭ページでは、学習の進め方をわかりやすく示しました。前学年の内容を学習材にして、問題解決型の学習過程における大切な視点を改めて確認できるようにするとともに、子どもたちが主体的に学ぶように促しています。

また、最初の授業開きとして扱うことにより、今後の学習への期待感をふくらませます。

わかりやすく示した「学び方の4ステップ」でこれからはじまる学習が楽しみになるね。



3年上p.2,4-5

### 1 どんな問題かな

問題文をよく読んで何が問われているか、意味をしっかりとつかみます。主体的な学びの起点です。

### 2 考えよう

問題を解決するために、どのように考えたらよいか見通しを立てます。自力解決のはじまりです。

### 3 学び合おう

自分の考えを発表し、話し合います。互いの意見を聞き、視野を広げることで、より深い学びが得られます。

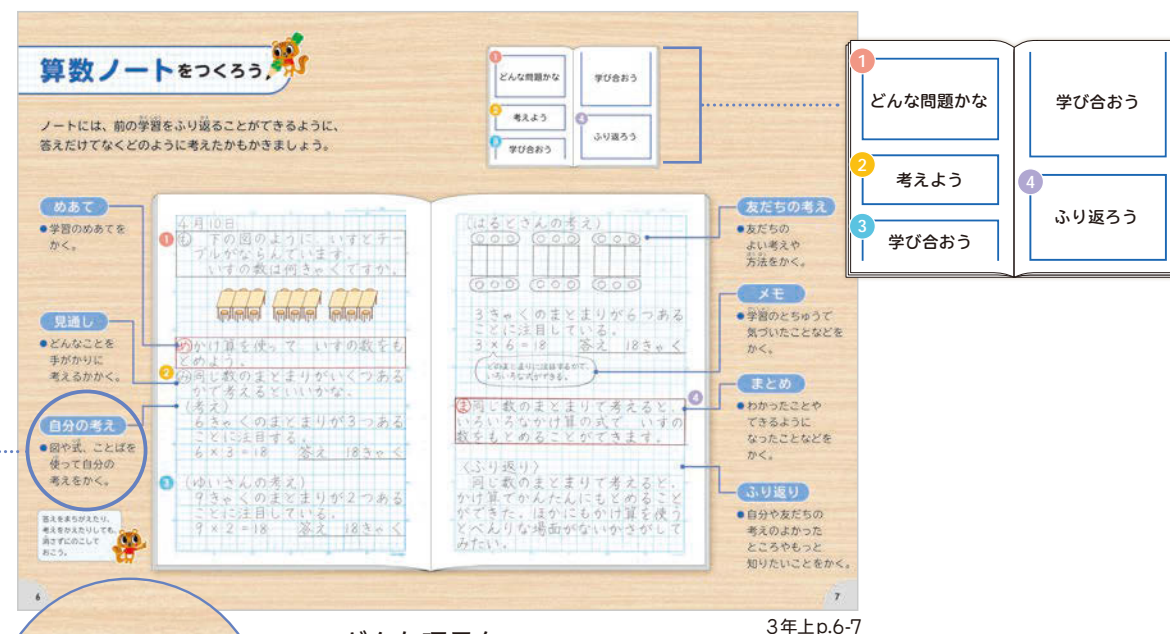
### 4 ふり返ろう

学習をふり返り、ノートにまとめます。思考を整理することで、新たな学びへの興味や関心を喚起します。

問題解決の過程を「**学び方の4ステップ**」として、ていねいに示しています。

## 算数ノートをつくらう

筋道を立てて考える力や表現力を育てるために、考えた過程や友だちの考えなどをかき示したノート見本を掲載しました。



3年上p.6-7

### 自分の考え

● 図や式、ことばを使って自分の考えをかく。

どんな項目を  
かけばよいかわかります。

● 何に気をつけて  
かけばよいかわかります。

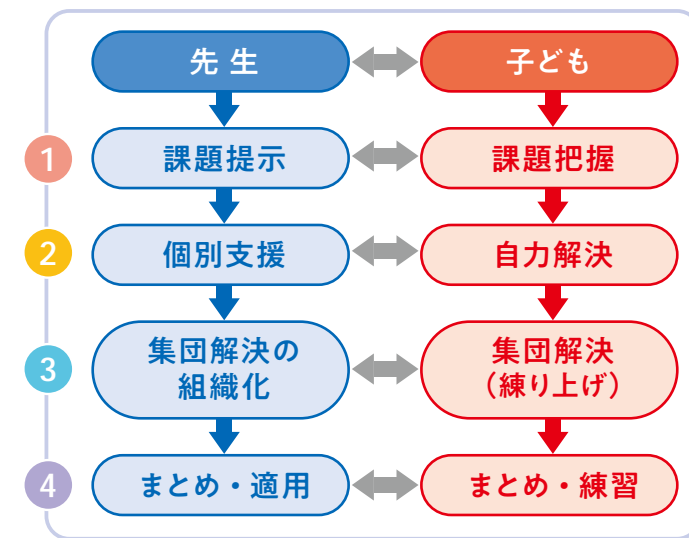
項目を分けてかくことで  
前の学習をふり返れる  
整理されたノートに！



3年上p.3

算数の問題解決型学習は

①「課題把握」②「自力解決」③「集団解決(練り上げ)」④「まとめ・練習」という4ステップで進められます。





# 主体的・対話的で深い学びの実現

## 自分で みんなで

教室での学習場면을模した紙面構成で、子どもたちが考え、話し合い、結果を導き出すまでを表現しています。  
各ページの側注で「何に着目し、どのように考えていけばよいか」を示し、子どもたちの思考力、判断力、表現力等の育成をサポートします。  
「主体的・対話的で深い学び」の実現を後押しするとともに、先生方の授業づくりの参考にもしていただけます。

自分で考え  
みんなで学ぶ  
教室での学習場面が  
イメージしやすいね！



### 「自分で みんなで」掲載ページ

1年	たしざん(②p.65-67)、ずをつかってかんがえよう(②p.127-129)
2年	たし算(上p.23-25)、水のかさ(上p.103-105)、九九のひょう(下p.47-49)、10000までの数(下p.73-75)
3年	ぼうグラフ(上p.75-77)、あまりのあるわり算(上p.85-87) かけ算の筆算(1)(下p.9-11)、三角形と角(下p.81-83)
4年	わり算(1)(上p.27-29)、折れ線グラフと表(上p.51-53) 面積(下p.47-49)、変わり方(下p.83-85)
5年	体積(p.23-25)、図形の合同と角(p.83-85)、単位量あたりの大きさ(p.133-135)、割合(p.221-223)
6年	分数のかけ算とわり算(p.39-41)、データの調べ方(p.89-91)、拡大図と縮図(p.159-161)、比例と反比例(p.185-187)

3ページ並べると  
板書例として見ることができ、  
授業展開の参考に使っていただけます。  
問題提示の場面は、  
実際の教室を想定して  
電子黒板をイメージしました。

数学的な見方・考え方を含めた、  
学習材に即した具体的な思考の  
過程をていねいに示しました。  
子どもたちが自分で考え、  
みんなで学ぶ様子から、  
学習のイメージがふくらみます。

子どもたちの考えも  
デジタルコンテンツで  
確認できます。

自分の考えを伝え合い、  
話し合って学び合う様子が  
イメージできるように示しています。

1時間の学習をふり返り、  
思考を整理し、新たな学びへの意欲を  
高めます。

GIGAスクール  
校種間の連携  
個別最適な学び  
教科書の構成  
基本方針 1  
基本方針 2  
基本方針 3  
配慮  
資料



# ひとめでわかる学習の流れ

## 「めあて」と「まとめ」

学習内容が焦点化され、  
学習の流れがよりわかりやすくなるように、  
全時間に「めあて」と「まとめ」を設け、  
タイトルをつけて紙面に明示しました。

**めあて** わられる数が0のわり算について考えよう。

**まとめ** わられる数が0のとき、わり算の答えは0になります。  
また、わる数が1のとき、わり算の答えはわられる数になります。

先生方の授業づくりにご活用いただけ、  
子どもたちの自宅学習のサポートにもなります。

## 「見方・考え方」

「めあて」の近くには、見通しを立てたり、筋道立てて考えたりするための着眼点を「見方・考え方」として配置しました。ただ答えを求めるだけでなく、数学的な見方・考え方を働かせることを意識することによって、いっそう学びが深まります。

汎用的な見方・考え方

見方・考え方  
数のまとまりに注目する  
60を⑩が6こことみる。

各場面に応じた具体的な視点

## 学び方ガイド

本資料p.22～23で示した、「学び方の4ステップ」を  
どの学習場面でも確認できるように、  
上巻巻末に「学び方ガイド」を用意しています。



自分の名前をかいて大切に使えるよ。

切り取って  
使用できます

## 算数で使いたい「見方・考え方」

「学び方ガイド」の裏には、「算数で使いたい見方・考え方」の一覧を用意しています。一覧には子ども向けの表現と先生・保護者の方々向けの言葉を併記しています。

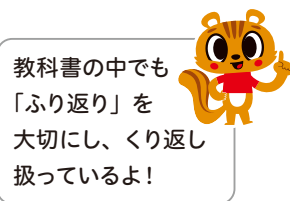
表 裏返すと

見方・考え方	子ども向けの表現
見方	～に注目する(2,3,4年) ～に着目する(5,6年)
単純化	かんたんな場合で考える
一般化	いつでもいえるか考える
簡潔・明瞭	わかりやすく表す
類推	同じように考える
帰納	きまりを見つける
演繹	わかっていることをもとに考える
統合	同じところを見つけてまとめる
発展	広げて考える
日常生活	生活にいかす



# ふり返りの充実

「主体的・対話的で深い学び」の実現には「何を、どう学び、何ができるようになったのか」など、子どもたちが自身の学びの過程や変容を自覚する、「ふり返し」がとても重要です。



## 毎時間のふり返し 各コーナーでふり返しを促しています。

### 学び方ガイド

**ふり返ろう**

学習をふり返る

- わかったことやできるようになったことをまとめる。
- 解決のしかたや考え方がよかったことをふり返る。
- もっと知りたいことを考える。

3年上巻末

### 算数ノートをつくろう

〈ふり返り〉

表に整理すると、ともなって変わる2つの量のきまりに気づくことができた。ことばの式に表すといつでも使えそうだった。

**ふり返り**

- 自分や友達の考えのよかったところやもっと知りたいことをかく。

5年p.7

### 自分で みんなで

4 今日学習をふり返って、わかったことをまとめよう。

**ふり返ろう**

- ともなって変わる量の関係を調べて、わかったことをまとめよう。
- 友達が使った方法で、よかったところをふり返ろう。
- だんの数がどんな数になっても使うことができるきまりかどうか考えてみよう。

側注ではふり返りの視点を明示

ふり返しをしている子どもたちの具体的な姿

4年下p.85

## 毎単元のふり返し 毎時間のふり返しに加え、単元全体のふり返しも大切にしています。

### 〇〇の学習をふり返ろう。

2年上p.128

「三角形と 四角形」の学習をふりかえろう。

知識・技能に関するふり返し

思考・判断・表現、または主体的に学習に取り組む態度に関するふり返し

3年下p.34

# 2

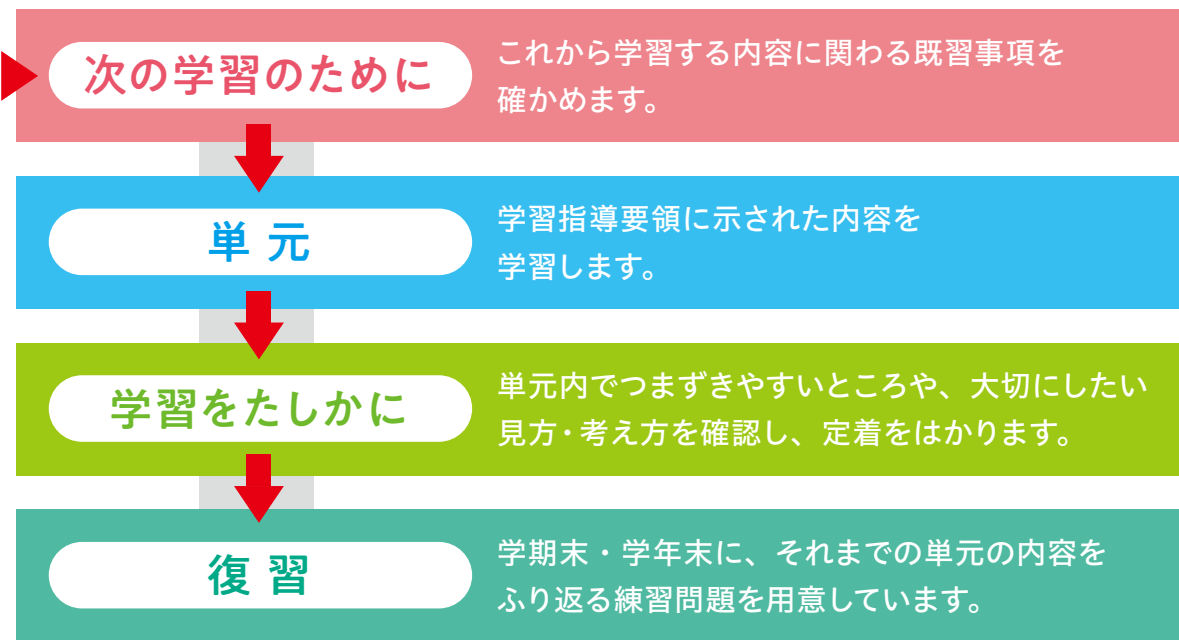
## たしかな基礎力が 自信に つながります。

- つながり大切に単元構成 30
- 苦手やつまづきの克服と基礎・基本の確認 32
- 「倍」の単元の新設 36





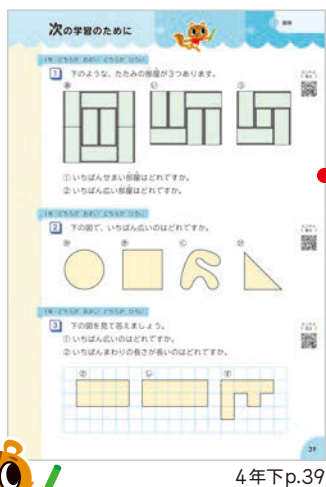
# つながりを大切にした単元構成



次の単元や学年へ

大切なことは各コーナーでくり返し取り上げ学習内容の定着をはかります。

## 次（Next）の学習のために



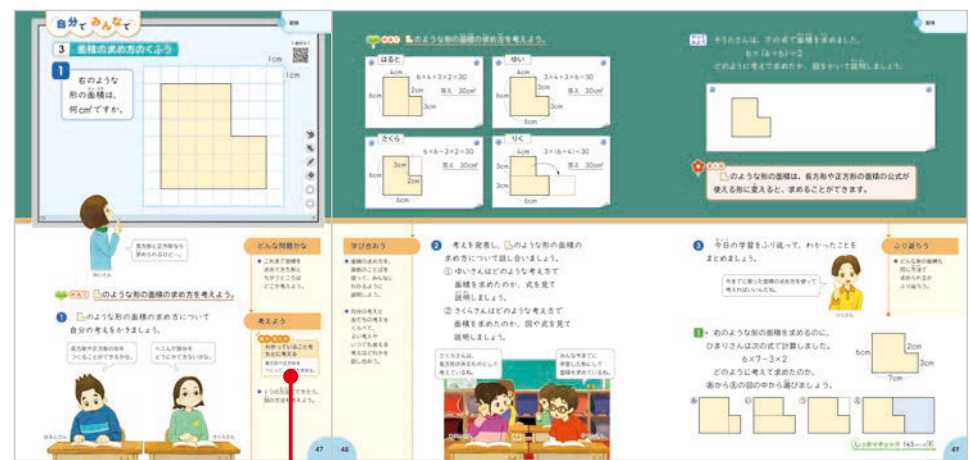
これから面積の学習をするよ。

## 単元

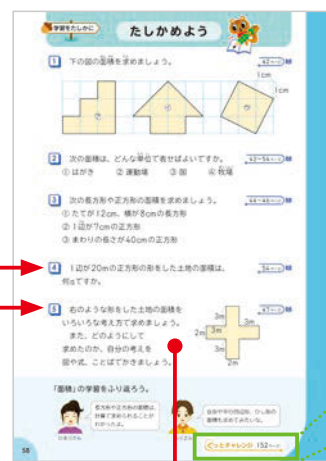


しっかりチェック 146ページ

本資料 p.40



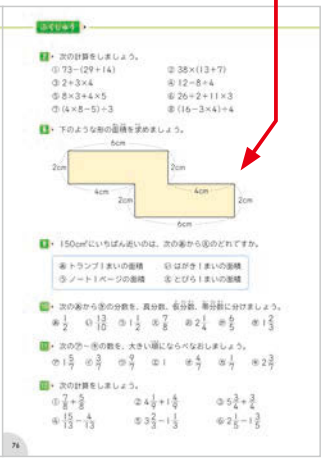
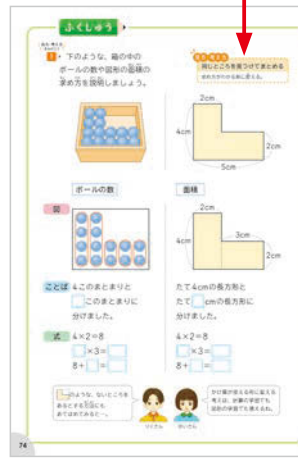
## 学習をたしかに



くっとチャレンジ 152ページ

本資料 p.41

## 復習



次の単元や学年へつながるよ。



5年・図形の面積 p.149



GIGAスクール

校種間の連携

個別最適な学び

教科書の構成

基本方針 ①

基本方針 ②

基本方針 ③

配慮

資料



# 苦手やつまずきの克服と基礎・基本の確認

## 次の学習のために

新しい単位にはいる前に、これから学習する内容に関わる既習事項を確かめる「次の学習のために」を設けました。内容の系統性が明確な算数においては、基礎・基本を定着させるために、学習したことをくり返し確認することが大切です。

3年・□を使った式 4年・変わり方

2 □にあてはまる数をかきまし

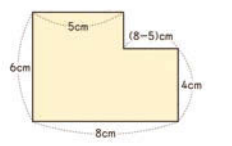
どの学年・単元で学んだかがわかります。

次の単位に関わる既習事項を押さえることで、新しい学習にスムーズにはいることができます。

ヒントと答え



3のヒント  
式を分けて考えましょう。  
 $6 \times 5 + 4 \times (8 - 5)$   
 $6 \times 5$     $4 \times (8 - 5)$



デジタルコンテンツでは、問題を解く手がかりが表示されます。  
▶ 本資料 p.7

もくじ

もくじに配した「これまでの学習」は既習事項とのつながりを示しています。



4年下表2

前に学習した内容を確認することで新しい学習のはじまりがスムーズだね。



次の学習のために

3年・□を使った式 4年・変わり方

1 いろいろな式について考えます。次のことがらで□や△を使って式に表しましょう。

- ① 5mのテープから□m切り取ったときの残りの長さ△m
- ② 1冊150円のノートで□冊買ったときの代金△円
- ③ 60kmの道のりを走る車の時速□kmとかかる時間△時間
- ④ 1個90円のプリンを□個買って、150円の箱に入れたときの代金△円

2 □にあてはまる数をかきましよう。

- ① □ + 45 = 76
- ② □ - 24 = 52
- ③ 8 × □ = 40
- ④ □ × 5 = 100
- ⑤ □ + 7 = 9
- ⑥ □ + 3 = 27

4年・変わり方 5年・比

3 縦が1cm、横が4cmの長方形があります。この長方形の縦の長さが2cm、3cm、...と伸びていきます。そのとき、長方形の面積はどのように変わりますか。

① 縦の長さとの面積の関係を調べて表をつくりましょう。表のあいているところに数をかきましよう。

縦の長さ(cm)	1	2	3	4	5	6	7
面積(cm <sup>2</sup> )							

② 縦の長さを□cm、面積を△cm<sup>2</sup>として、□と△の関係を式に表しましょう。

③ 縦の長さが12cmのときの面積を求めましよう。

④ 面積が72cm<sup>2</sup>のときの縦の長さを求めましよう。

6年p.27

次の学習のために

4年・面積

1 右の長方形の面積を求めます。□にあてはまる数やことばをかきましよう。

- ① 面積は、1辺が□cmの□がいくつ分けて表します。
- ② この長方形は、1cm<sup>2</sup>の正方形がたてに□個、横に□個ならびます。
- ③ この長方形の面積は、1cm<sup>2</sup>の正方形が□個分けて、□cm<sup>2</sup>です。

4年・面積

2 下のような長方形や正方形の面積を求めましよう。

①

②

4年・面積

3 右のような形の面積を、次の式で求めました。どのように求めたかがわかるように、図に線をかきましよう。

$6 \times 5 + 4 \times (8 - 5)$

5年p.17

## 練習問題

2  $6.56 + 0.84$ を筆算でましよう。

答えは、7.40だね。

3  $4.17 + 5.2$ を筆算でましよう。

次の①と②のどちらが正しいか話し合いましよう。

①  $4.17 + 5.2 = 9.37$

②  $4.17 + 5.2 = 9.37$

小数のたし算の筆算は、小数点の位置をあわせ、位をそろえて計算します。

③  $3.94 + 1.76$    ④  $9.23 + 0.47$    ⑤  $0.98 + 5.12$

⑥  $3.21 + 1.5$    ⑦  $3.7 + 2.48$    ⑧  $1.8 + 0.69$

⑨  $6.29 + 13.5$    ⑩  $24.7 + 2.86$    ⑪  $3 + 4.25$

かりさんは、 $2.32 + 6.5$ の計算を右のようにしました。正しいかまちがいがかえましよう。また、そのわけも説明しましよう。

4年上p.100

大問には必ず練習問題を用意しています。①のように網掛けをしている問題は、その時間に学習した型を示しています。

計算問題にはデジタルコンテンツとして追加の練習問題を用意しています。▶ 本資料 p.7

小数

4.58 + 0.82 =

1 2 3 4 5 6 7 8 9 0 .

練習

どうしてが/いえるかな/の問題では、なぜそうなるのかを言葉で説明する問題を用意しています。

## 〇〇までに学習したこと(巻末)

前学年または前巻までに学習したことのうち、当該学年の学習内容に関わる既習事項を整理しました。子どもが自身の理解度を確かめられるだけでなく、新たな問題を考える際の手助けにもなります。

上巻では前学年までに、下巻では前巻までに学習したことを扱っています。

どの学年・単元で学んだかがわかります。

3年までに学習したこと

1 1000以内の数の読み書き

2 1000以内の数の大きさの比べ

3 1000以内の数のたし算とひき算

4 1000以内の数のかけ算とわり算

5 1000以内の数のたし算とひき算

6 1000以内の数のかけ算とわり算

7 1000以内の数のたし算とひき算

8 1000以内の数のかけ算とわり算

9 1000以内の数のたし算とひき算

10 1000以内の数のかけ算とわり算

4年までに学習したこと

1 計算のやり方

2 長さの単位

3 面積の単位

4 面積の求め方

5 面積の求め方

6 面積の求め方

7 面積の求め方

8 面積の求め方

9 面積の求め方

10 面積の求め方

11 面積の求め方

12 面積の求め方

13 面積の求め方

14 面積の求め方

15 面積の求め方

16 面積の求め方

17 面積の求め方

18 面積の求め方

19 面積の求め方

20 面積の求め方

4年下p.164-165

定義など、大切な用語は太字で示しています。



# 苦手やつまずきの克服と基礎・基本の確認

単元末には「わかっているかな」「たしかめよう」からなる「学習をたしかに」を新設しました。子どもがつまずきや、見方・考え方を価値づける内容にも焦点をあてています。

## 学習をたしかに わかっているかな

「わかっているかな」は、**ア**「まちがいやすい問題」と **イ**「見方・考え方をみがこう」で構成しています。

**ア** 全国学力・学習状況調査などの結果をもとに、子どもがつまずきやすい内容を取り上げています。

**イ** その単元で働かせた数学的な見方・考え方がさらに豊かで確かなものへとなっていくような問題を取り上げています。

【学習指導要領との関連】  
各学年各領域の目標である「**ア** 次のような知識及び技能を身につけること」「**イ** 次のような思考力、判断力、表現力を身に付けること」にも対応しています。

2年下p.71

2年下p.77

2年下p.73

それぞれ単元内への誘導を掲載

学期末や学年末の「復習」にも、「見方・考え方をみがこう」の問題を設定し、統合的・発展的に考えることへとつなげていきます。

## 学習をたしかに たしかめよう 「たしかめよう」は、その単元全体の確認問題です。

2年下p.78

わからなくなってもすぐに単元内に戻れるよう、参照ページを示しています。

2年下p.76

応用的・発展的な問題を載せている「ぐっとチャレンジ」への参照ページを示しています。

→ 本資料 p.41

## よみとろう あらわそう

図を使って考える学習が苦手な子どもたちのために、図や式、ことばの関連、テープ図や数直線図のよみ方・かき方を系統的に整理して、図を使いこなせるようにしました。

5年p.193

314ページ

5年p.314

図・表記に関する系統は、本資料 p.64-67 にくわしく掲載しています。



# 「倍」の単元の新設

子どもたちにとって、難関であるといわれてきた「倍」「割合」に関する学習について、低学年からていねいに積み上げていくことを意図し、3年以降に「倍」と「割合」に特化した単元を設けました。

2年 2年下p.50

2年下p.15  
2年から「倍」について取り上げています。

3年 3年下p.74

第1用法、第2用法、第3用法のすべてを取り上げています。

4年 4年上p.126

整数倍への適用に続き、簡単な割合について取り上げています。

5年 5年下p.192

- 13 倍を表す小数
- 14 分数と小数、整数
- 15 割合

5年p.1

「割合」の単元の近くに「倍」に関する学習を配置しています。

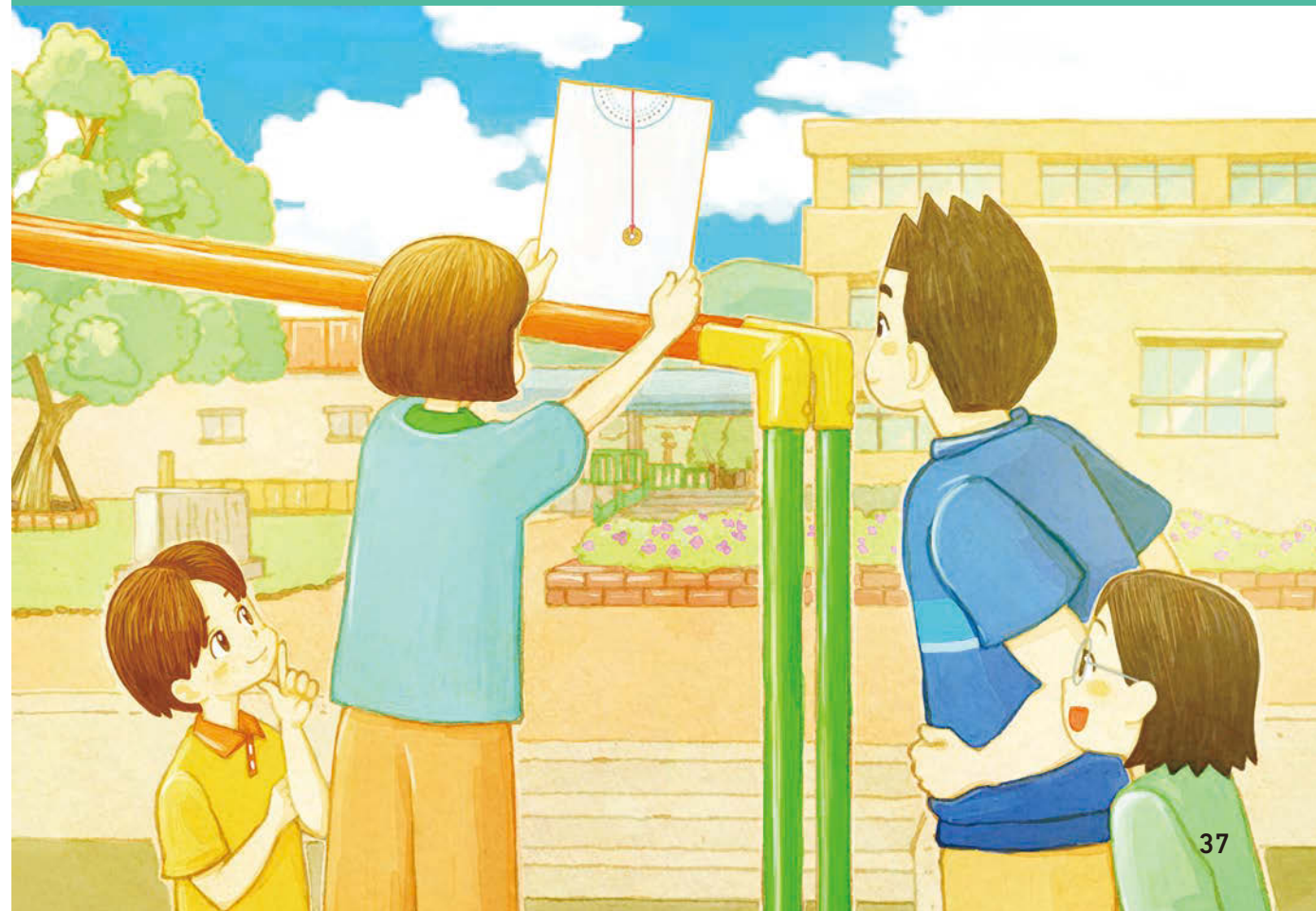
6年 6年p.74

デジタルコンテンツには数直線ツールを用意しています。

# 3

身近に算数を感じ、  
幅広く  
いかせます。

- 日常生活と算数をつなげる 38
- 学びを広げる多彩な問題 40





# 日常生活と算数をつなげる

## 単元アプローチ

各単元のはじめに、子どもたちが「やってみたい」「もっと知りたい」と思うような、興味や好奇心に働きかける題材を用意しました。操作活動、既習事項のふり返り、身の回りの観察などにより、子どもたちの学習意欲を高めます。



2年下p.56

遊びの要素がある  
楽しい活動の中で、  
子どもたちに  
「気づき」や「疑問」が  
芽生えます。

これまでの学習の  
ふり返りにより、  
新しい学習に円滑に  
入ることができます。



4年上p.110

## 使ってみよう

学習したことを生活の場面にかし、算数の楽しさや意義を実感できるように、数学的活動の参考となるページを充実させました。



5年p.146

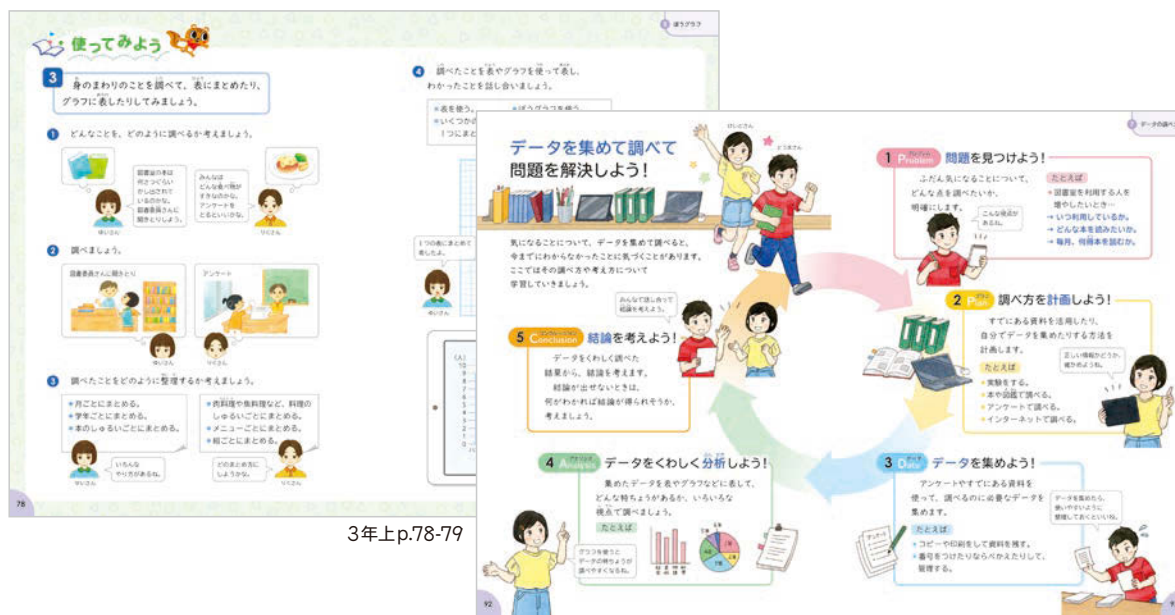


4年上p.72

写真や準備するもの、  
手順などから、  
数学的活動を具体的に  
イメージできます。

## 統計教育

低学年から表やグラフを活用する場面を設けることで、統計的な問題解決のプロセス(PPDAC)を意識できるようにしました。また多くの学年では1学期に配置しているので、夏休みの自由研究などに活用できます。



3年上p.78-79

6年p.92-93

## 算数ジャンプ

算数で学習した単元や領域だけでなく、他教科や日常生活とも結びつけた総合的な算数の問題を取り上げています。授業の中で探究的な内容に取り組めるように紙面構成をくふうしました。



6年p.196-197

4年下p.130-131

他教科の学習とつなげて、  
学びをいかす力や姿勢を育てます。



# 学びを広げる多彩な問題

## 算数マイトライ

より多くの子どもたちが算数を好きになるように、手応えがあり、数学的なおもしろさを感じられる「基礎・基本」「応用・発展」「探究」的な問題を用意しました。子ども一人ひとりの実態に応じて柔軟に対応ができ、習熟度別指導などの個別最適な学びでも活用できます。

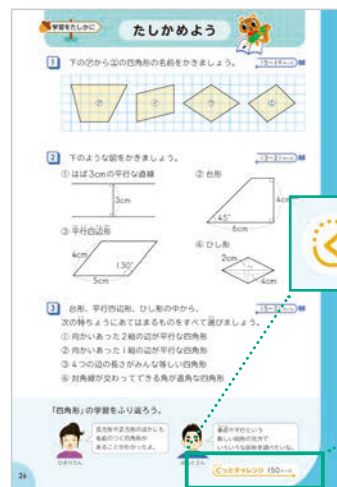


6年p.251



## ぐっとチャレンジ

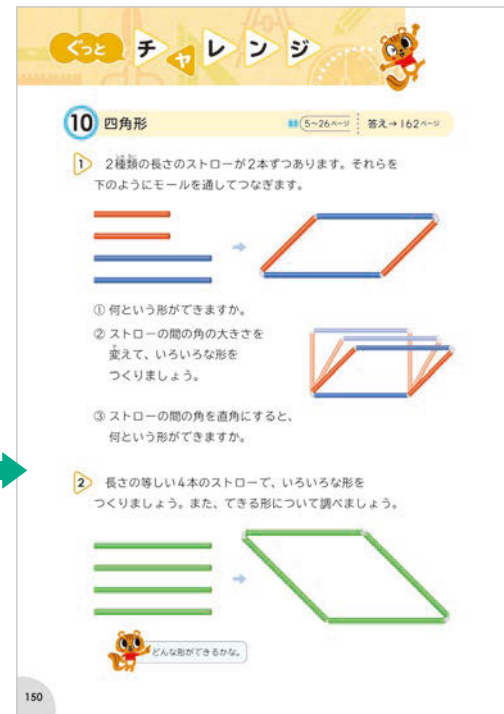
各単元の内容に対応して、学びをさらに深める応用的・発展的な問題です。



4年下p.26

単元末の「たしかめよう」から算数マイトライへ

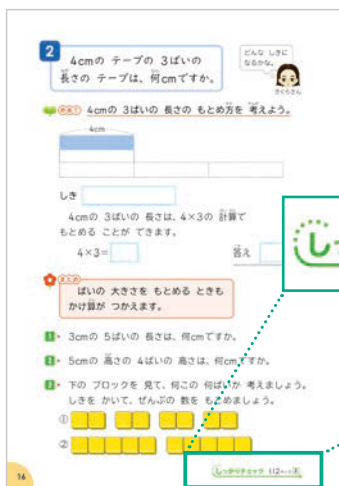
ぐっとチャレンジ 150ページ



4年下p.150

## しっかりチェック

基礎的な知識及び技能の定着に向けて設定した問題です。

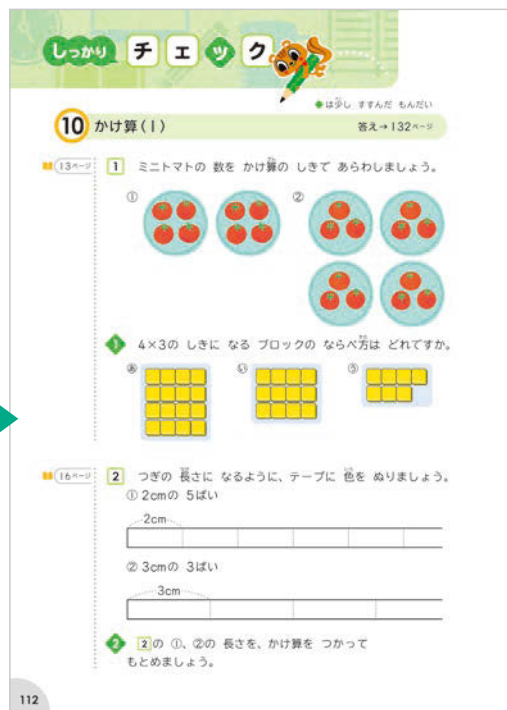


2年下p.16

単元内の練習問題から算数マイトライへ

しっかりチェック 112ページ 2

豊富な問題数で、学習内容の基礎・基本を徹底して身につけることができます。



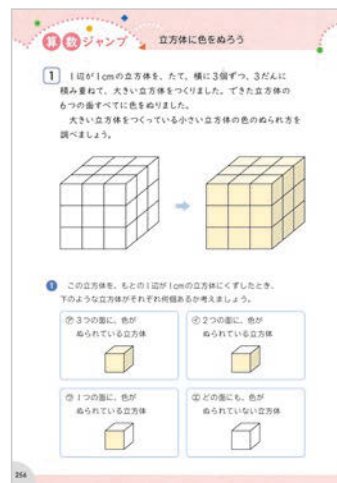
2年下p.112

1 は基本的な問題、  
1 は少し進んだ問題と設定し、  
難易度別の構成にしています。

## もっとジャンプ

複数の単元の内容を横断した、算数の学びを広げられる探究的な問題です。

「算数ジャンプ」から算数マイトライへ



5年p.256

より広くて深い算数の世界にジャンプ!



5年p.294-295

学んだことを柔軟に捉えて、論理的に考える力を育みます。



## 紙面デザイン

### 1 色のくふう

### 2 定義とまとめの区別

2 直方体や立方体の 特徴を調べましょう。

直方体や立方体の 頂点、辺、面について調べよう。

直方体や立方体の面のように、平らな面のことを平面といっています。

直方体	頂点の数	辺の数	面の数
立方体	頂点の数	辺の数	面の数

直方体と立方体の 形も大きさも同じ面や、長さが等しい辺の数はちがいます。

直方体の大きさは、たて、横、高さの3つの辺の長さで表されます。立方体の大きさは、1辺の長さで表されます。

右のような直方体には、どんな長さの辺がいくつありますか。また、どんな形の面がいくつありますか。

4年下p.117

### 3 使いやすくするくふう

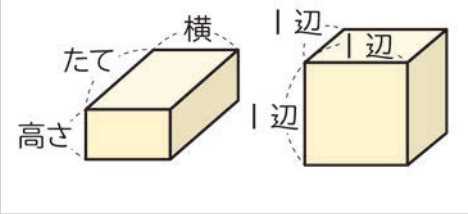
デザインのくふうで 使いやすい紙面になっているよ。



### 1 色のくふう

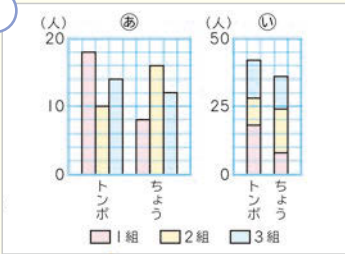
紙面の情報がすべての子どもに正しく伝わるよう、カラーユニバーサルデザインに配慮しています。

#### 図形



4年下p.117

#### グラフ



### 2 定義とまとめの区別

「定義」と「まとめ」は、それぞれの区別ができるよう、わかりやすいデザインの囲みで示しています。

#### 定義

直方体や立方体の面のように、平らな面のことを平面といっています。

4年下p.117

#### まとめ

直方体と立方体では、頂点、辺、面の数は同じですが、形も大きさも同じ面や、長さが等しい辺の数はちがいます。

4年下p.117

### 3 使いやすくするくふう

何を学習しているかを明らかにするため、また、目的の単元を見つけやすいよう、紙面右上に「単元名」を見開きごとに配しました。

17 直方体と立方体

4年下p.117

## 文字

1cmを同じ長さに10に分けた1つ分の長さを1ミリメートルといい、1mmと かきます。センチメートルやミリメートルは、長さの単位です。

1mm mm mm

1cm = 10mm

はがきの たての 長さは、14cm8mmです。

cmと mmで はがきの たての長さを あらわせます。

紙の単位に注目する  
紙の単位をあらわすときの単位を尋ねる。

2年上p.52

視認性を向上させるため、教科書体・ゴシック体にUDフォントを採用しました。

文節で改行し、文意をよみ取りやすくしました。

当該学年以上の漢字には、ページごとの初出にルビを振りしました。

## 領域別の色分け

各単元を、領域別に色分けし、学習の系統性を意識しやすくしました。

A 数と計算

B 図形

C 測定  
変化と関係

D データの活用

5もくじ

1 整数と小数のしくみ

2 体積

3 2つの量の変わり方

4 小数のかけ算

5 小数のわり算

6 図形の合同と角

7 整数の性質

8 分数のたし算とひき算

9 平均

10 単位量あたりの大きさ

11 図形の面積

12 正多角形と円

13 倍を表す小数

14 分数と小数、整数

15 割合

16 帯グラフと円グラフ

17 角柱と円柱

紙面右上に配した「単元名」と、ページ番号を領域別に色分けしています。

5年表2-p.1

2年上p.89

3年下p.85

4年下p.81

5年p.233



## 人権上の配慮

性別による服装や役割の固定化がないように配慮しました。  
また、協働の場面では、性別・人種・障がいの有無に関係なく、  
みんなで協力している姿を表現しました。



6年p.146



5年p.127



3年下p.107

## SDGs

SDGsに関連した題材を取り上げ、SDGsについて  
子どもたちと一緒に考えていけるくふうをしました。



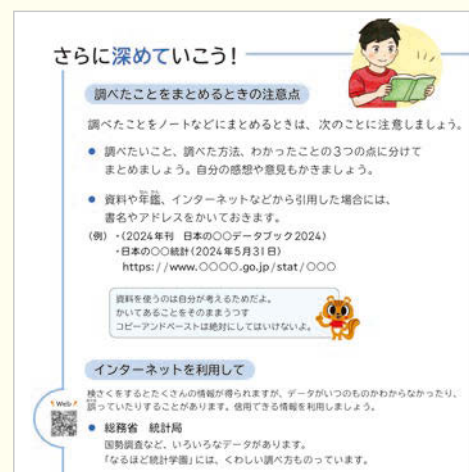
6年p.198



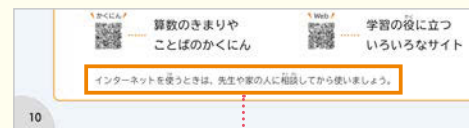
3年上p.101

## 情報リテラシー

情報モラルやリテラシーに配慮した  
内容を掲載しています。



6年p.100



3年上p.10

インターネットを使うときは、先生や家の人に相談してから使えよう。

## 他教科との関連

日常生活と算数を結びつけることを強調するため、  
他教科との関連を意識した題材を多く取り上げました。



6年p.294



4年下p.84-85

## 道徳

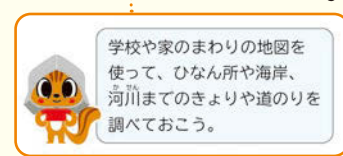
道徳性を養うことに視点を置き、問題解決の場面では、  
他者の多様な考えを尊重し、話し合いを通して、  
よりよい考えへと展開していく様子を掲載しました。

## 防災・安全教育

防災・安全教育に配慮し、日頃  
心がけたい題材を取り上げました。



6年p.167



防災ずきんをかぶったクリンが  
目印です。

## 伝統・文化

日本の伝統文化に触れられる題材も取り上げました。



6年p.142

5年p.172

## 和算

## 和食(無形文化遺産)



## 社会科

3年上p.38



## 体育

5年p.95



# 年間指導計画案

※ 表内の太線は上・下巻(1年は①・②巻)の区切りを表しています。

1年



2年



3年



4年



5年



6年



		単元	指導時間
前期	1学期	かずや かたちで たのしく	4
		1 10までの かず	9
		2 なんばんめ	2
		3 いくつと いくつ	7
		4 あわせて いくつ ふえると いくつ	9
		5 のこりは いくつ ちがいは いくつ	9
		6 かずを せいりしよう	3
		• ふくしゅう	1
		7 10より おおきい かず	8
		8 なんじ なんじはん	1
2学期	2学期	9 どちらが ながい	5
		10 ふえたり へったり	4
		11 たしざん	10
		12 かたちあそび	6
		13 ひきざん	10
		• たすのかな ひくのかな	2
		14 どちらが おおい どちらが ひろい	5
		• ふくしゅう	1
		15 20より 大きい かず	11
		16 たしざんと ひきざん	4
後期	3学期	17 なんじ なんぶん	2
		18 ずを つかって かんがえよう	4
		19 かたちづくり	4
		20 おなじ かずずつ わけよう	2
		• 1年の ふくしゅう	3

		単元	指導時間
前期	1学期	• さあ、算数の学習を はじめよう!	1
		1 ひょうと グラフ	5
		2 たし算	8
		3 ひき算	9
		• たすのかな ひくのかな	1
		4 長さの 単位	10
		5 時こくと 時間	4
		6 1000までの 数	10
		7 たし算と ひき算の 筆算	11
		• ふくしゅう	1
2学期	2学期	8 水の かさ	7
		9 三角形と 四角形	12
		10 かけ算(1)	22
		11 かけ算(2)	15
		12 九九の ひょう	7
		• ふくしゅう	1
		13 長い 長さ	5
		14 10000までの 数	11
		15 もんだいの 考え方	6
		16 はこの 形	6
後期	3学期	17 分数	5
		• 算数ジャンプ	1
		• 2年の ふくしゅう	3

		単元	指導時間
前期	1学期	• さあ、算数の学習を はじめよう!	1
		1 かけ算	8
		2 わり算	10
		3 時間の計算と短い時間	5
		4 たし算とひき算	11
		5 ぼうグラフ	13
		6 あまりのあるわり算	8
		• ふくしゅう	1
		7 大きい数	9
		8 長さ	6
2学期	2学期	9 円と球	9
		10 かけ算の筆算(1)	11
		11 小数	10
		12 重さ	8
		13 分数	12
		• ふくしゅう	1
		14 □を使った式	4
		15 倍の見方	3
		• どんな計算になるか 考えよう	1
		16 三角形と角	10
後期	3学期	17 かけ算の筆算(2)	8
		• どんな計算になるか 考えよう	1
		• 算数ジャンプ	1
		• 3年のふくしゅう	3

		単元	指導時間
前期	1学期	• さあ、算数の学習を はじめよう!	1
		1 大きい数	8
		2 わり算(1)	11
		• どんな計算になるか 考えよう	1
		3 折れ線グラフと表	13
		4 角と角度	8
		5 およその数	8
		6 小数	13
		• ふくしゅう	1
		7 わり算(2)	11
2学期	2学期	8 倍の見方	5
		• どんな計算になるか 考えよう	1
		9 そろばん	2
		10 四角形	15
		11 式と計算	8
		12 面積	14
		13 分数	10
		• ふくしゅう	1
		14 変わり方	4
		後期	3学期
16 小数のかけ算とわり算	14		
• 算数ジャンプ	3		
• 4年のふくしゅう	3		

		単元	指導時間
前期	1学期	• さあ、算数の学習を はじめよう!	1
		1 整数と小数のしくみ	4
		2 体積	11
		3 2つの量の変わり方	5
		4 小数のかけ算	12
		5 小数のわり算	12
		• どんな計算になるか 考えよう	1
		6 図形の合同と角	14
		• 復習	1
		7 整数の性質	10
2学期	2学期	8 分数のたし算とひき算	11
		• 算数ジャンプ	1
		9 平均	4
		10 単位量あたりの大きさ	13
		11 図形の面積	14
		12 正多角形と円	12
		13 倍を表す小数	3
		• 復習	1
		14 分数と小数、整数	7
		後期	3学期
• どんな計算になるか 考えよう	1		
16 帯グラフと円グラフ	8		
17 角柱と円柱	7		
		• 算数ジャンプ	3
		• 5年の復習	3

		単元	指導時間
前期	1学期	• さあ、算数の学習を はじめよう!	1
		1 対称な図形	10
		2 文字と式	5
		3 分数のかけ算とわり算	4
		4 分数のかけ算	12
		5 分数のわり算	10
		• どんな計算になるか 考えよう	1
		6 倍を表す分数	3
		• どんな計算になるか 考えよう	1
		7 データの調べ方	14
2学期	2学期	• 復習	1
		8 円の面積	8
		9 角柱と円柱の体積	6
		10 場合の数	7
		• 算数ジャンプ	1
		11 比	9
		12 拡大図と縮図	10
		13 およその面積と体積	2
		14 比例と反比例	13
		後期	3学期
• 復習	2		
• マテマランドを 探検しよう!	16		
• 6年間のまとめ	12		
		• もうすぐ中学生	7

1年 年間指導時数 (標準時数 136時間)

前期	62	1学期	44(4)
		2学期	52(4)
後期	64	3学期	30(2)
年間指導時数 126(10)			

2年 年間指導時数 (標準時数 175時間)

前期	79	1学期	60(5)
		2学期	64(6)
後期	82	3学期	37(3)
年間指導時数 161(14)			

3年 年間指導時数 (標準時数 175時間)

前期	81	1学期	57(8)
		2学期	66(4)
後期	76	3学期	34(6)
年間指導時数 157(18)			

4年 年間指導時数 (標準時数 175時間)

前期	83	1学期	64(1)
		2学期	67(3)
後期	85	3学期	37(3)
年間指導時数 168(7)			

5年 年間指導時数 (標準時数 175時間)

前期	83	1学期	61(4)
		2学期	69(1)
後期	85	3学期	38(2)
年間指導時数 168(7)			

6年 年間指導時数 (標準時数 175時間)

前期	84	1学期	62(3)
		2学期	61(9)
後期	74	3学期	35(5)
年間指導時数 158(17)			

※ (予備時間)

GIGAスクール

校種間の連携

個別最適な学び

教科書の構成

基本方針①

基本方針②

基本方針③

配慮

資料



# 教科書検討の観点から見た内容の特色

## 1. 教育基本法との関連

観点	「小学算数」の内容の特色	おもな事例と関連ページ
同法第二条 第一号 幅広い知識と教養を身に付け、真理を求める態度を養い、豊かな情操と道徳心を培うとともに、健やかな身体を養うこと。	① 問題解決的な学習の展開例を示すとともに、単元内には「数学的な見方・考え方」を示し、真理を求める学習態度が養えるようにしています。  ② 自らの意見を発表するとともに他者の多様な考え方も尊重する協働的な話し合いを通して、豊かな情操と道徳心が養えるようにしています。	● 2年以降の巻頭に、問題解決的な学習の展開例を示した《さあ、算数の学習をはじめよう!》、ノートの書き方を示した《算数ノートをつくらう》を設け、 <b>真理を求める学習態度が養える</b> ようにしました。 ■ 2上2-7 / 3上2-7 / 4上2-7 / 5年2-7 / 6年2-7  ● 単元中には学習内容の理解をより確かなものにする数学的な《見方・考え方》を随所に記載し、 <b>幅広い知識と教養が身につけられる</b> ようにしました。 ■ 2上13 / 3上67 / 4上69 / 5年55 / 6年55 ほか  ● 自らの意見を発表するとともに他者の多様な考え方も尊重し、話し合いを通してよりよい考えを作り上げていく《 <b>自分でみんなで</b> 》を設け、 <b>協働的な学習展開を通して豊かな情操と道徳心が養える</b> ようにしました。 ■ 1②65-67 / 2上23-25 / 3上75-77 / 4上27-29 / 5年23-25 / 6年39-41 ほか
第二号 個人の価値を尊重して、その能力を伸ばし、創造性を培い、自主及び自律の精神を養うとともに、  職業及び生活との関連を重視し、勤労を重んずる態度を養うこと。	③ 一人ひとりの児童の学習状況に幅広く柔軟に対応できるように題材を集め、児童の主体性を重視し、自主及び自律の精神が養えるようにしています。  ④ 生活や職業に関連した題材を取り上げ、算数と日常生活や勤労を重んずる態度との関連が実感できるようにしています。	● 2年以降の巻末に設けた《算数マイトライ》は、《 <b>しっかりチェック</b> 》《 <b>ぐっとチャレンジ</b> 》《 <b>もっとジャンプ</b> 》の3部構成で、 <b>子どもの実態に応じた柔軟な取り扱いのできる問題構成</b> になっています。さらに、自己評価できるように <b>解答例</b> も設けています。 ■ 2上129以降 / 3上139以降 / 4上137以降 / 5年265以降 / 6年251以降 ほか  ● 単元で習得した知識・技能を生活の中でいかしたり、 <b>キャリア教育や勤労について考え</b> たりする問題を各学年に設けました。 ■ 1②122 / 2上59 / 3上48 / 4上44 / 5年120-121 / 6年73 ほか
第三号 正義と責任、男女の平等、自他の敬愛と協力を重んずるとともに、  公共の精神に基づき、主体的に社会の形成に参画し、その発展に寄与する態度を養うこと。	⑤ 問題設定、対話場面、イラストなどすべてにわたって男女の平等に配慮した場面を提示しています。  ⑥ 子どもが考えを発表し、学び合う場面では、公共の精神に基づき、主体的に社会の形成に参画し、その発展に寄与する態度を養えるようにしています。	● 全学年で、 <b>男女などの性による服装や役割の固定化がない</b> ように配慮しました。また協働の場面では、 <b>性別に関係なくみんなで協力</b> している姿を表現しました。 ■ 1①26 / 2下17 / 3上52 / 4下52 / 5年125 / 6年94-99 ほか  ● 全学年に設けた《 <b>自分でみんなで</b> 》では、問題解決の過程において、自分の考えを表現したり、 <b>他者と協働して取り組んだりする場面</b> をていねいに示しました。 ■ 1②127-129 / 2上103-105 / 3上85-87 / 4上51-53 / 5年83-85 / 6年89-91 ほか
第四号 生命を尊び、自然を大切に、環境の保全に寄与する態度を養うこと。	⑦ 動植物、環境、安全を扱う題材を通して、生命を尊ぶ精神や、環境の保全に寄与する態度が養えるようにしています。	● 動植物を扱う場面、環境保全、安全教育に関しては、算数の題材と関連づけて各学年で取り上げ、 <b>生命の尊さ、自然の大切さを尊重する態度が養える</b> ようにしました。  ● 高学年の《算数ジャンプ》では、海岸のごみ、節水など <b>環境保全やSDGsにつながる題材</b> を取り上げました。 ■ 5年254-255 / 6年196-197 ほか
第五号 伝統と文化を尊重し、それらをはぐくんできた我が国と郷土を愛するとともに、他国を尊重し、国際社会の平和と発展に寄与する態度を養うこと。	⑧ 四季や伝統文化を感じられる題材や、先人たちが培ってきた算数の知恵・努力に関する話題を掲載し、我が国の伝統と文化に親しみ、それを大切にする気持ちが持てるようにしました。  ⑨ 世界に視野の広がる話題を掲載し、諸外国への関心を高め、国際社会の平和と発展に貢献する態度が養えるようにしています。	● 学習時期に合わせて、季節の草花や動植物、夏祭りなどの風物を題材にし、日本の四季や伝統文化を感じ、 <b>郷土を愛する気持ちをはぐくめる</b> ようにしました。また、 <b>和算や和食など伝統と文化に親しむことのできる</b> 、算数に関わりのある題材を掲載し、子どもの関心が高まるようにしました。 ■ 1②60 / 2上151 / 3上122 / 4上18 / 5年172 / 6年218 ほか  ● 各国の数の数え方や筆算の書き方、世界の人口や通貨の単位に関する問題、海外の数学の偉人など <b>国際的に視野の広がる内容</b> を取り上げました。 ■ 3上114 / 4上12-13、50 / 5年280 / 6年167、216、222 ほか

## 2. 学校教育法との関連

観点	「小学算数」の内容の特色	おもな事例と関連ページ
第三十条第二項 生涯にわたり学習する基盤が培われるよう、基礎的な知識及び技能を習得させるとともに、  これらを活用して課題を解決するために必要な思考力、判断力、表現力その他の能力をはぐくみ、  主体的に学習に取り組む態度を養うことに、特に意を用いなければならない。	① 基礎的な知識及び技能を習得させるための工夫として、つまずきやすい学習内容を繰り返して学習できるようにしました。  ② 課題を解決するために必要な思考力、判断力、表現力その他の能力をはぐくむ学習展開が実現できるようにしました。  ③ 主体的に学習に取り組む態度を養うための工夫として、学習の振り返りを促す場面を随所に設けました。	● 単元末に《 <b>学習をたしかに</b> 》を設定し、 <b>基礎的な知識及び技能が定着</b> するようにしました。中でも《 <b>まちがいがやすい問題</b> 》では、 <b>子どもたちがつまずきやすい学習内容を再度取り扱って</b> います。 ■ 2上29 / 3上45 / 4上42 / 5年51 / 6年57 ほか  ● 巻頭に《 <b>さあ、算数の学習をはじめよう!</b> 》、巻末に《 <b>学び方ガイド</b> 》を設け、主体的・対話的で深い学びにつながる <b>問題解決的な学習展開</b> を示しました。 ■ 2上2-5 / 3上2-5 / 4上2-5 / 5年2-5 / 6年2-5  ● 巻頭の《 <b>算数ノートをつくらう</b> 》、巻末の《 <b>学び方ガイド</b> 》では各時間、単元末の《 <b>〇〇の学習をふり返ろう</b> 》では各単元全体など、 <b>振り返りを示唆する場面を充実</b> しました。 ■ 2上128 / 3上137 / 4上125 ほか

## 3. 学習指導要領との関連

観点	「小学算数」の内容の特色	おもな事例と関連ページ
(1) 資質・能力の三つの柱に基づいて、数学的に考える資質・能力が育つように工夫がなされているか。	(1) 基礎的・基本的な概念や性質の理解を図るために、数学的な見方・考え方を働かせた学習展開にするとともに、学習したことの定着・向上を図る機会を適宜設けるようにしています。	● 単元前には <b>既習事項を確かめる</b> 《 <b>次の学習のために</b> 》を設けました。そして、数の意味や表し方、計算の意味、量の単位と測定、図形の意味や性質などの新しい <b>内容を抽象化、一般化する過程をていねいに扱う</b> とともに、「数」「量」「図形」の感覚が豊かになるようにしています。 ■ 全学年  ● <b>数学的な見方・考え方を働かせることを意識</b> できるように、《 <b>見方・考え方</b> 》を単元の随所に繰り返し配置しました。 ■ 2年以降  ● 算数と日常の事象を結びつける《 <b>使ってみよう</b> 》を単元内に設け、算数で学んだことを活用する場面を充実させています。 ■ 全学年
(2) 学習指導要領の目標に適合しているか。	(2) 基礎的・基本的な概念や性質などを理解し、日常の事象を数理的に処理する技能が身に付くように配慮されているか。	● 数学的活動としての <b>問題解決的な学習の進め方</b> を、単元中の《 <b>自分でみんなで</b> 》で示すことに加え、毎時間の「めあて」と「まとめ」を具体的に示し、その時間の <b>学習の流れを明確にする</b> ようにしました。 ■ 《 <b>自分でみんなで</b> 》は全学年、「めあて」と「まとめ」は2年以降  ● 各時間に働かせる数学的な見方・考え方は《 <b>見方・考え方</b> 》として配置し、 <b>見通しを立てたり、筋道立てて考えたりするための着眼点</b> になるようにしました。上段に汎用的な見方・考え方、下段に各場面に応じた具体的な視点を示しています。 ■ 2年以降  ● 学期末、学年末に扱う《 <b>復習</b> 》に、複数の内容を関連付けて <b>統合的・発展的に捉え直し、価値づける問題</b> 、《 <b>見方・考え方をみがこう</b> 》を設けました。 ■ 2年以降
① 数学的な見方・考え方を働かせ、数学的活動を通して、数学的に考える資質・能力を育成するための配慮がなされているか。	① 問題解決の過程で働かせる数学的な見方・考え方を提示し、数学的に考える資質・能力が育成できるようにしています。また学期末、学年末では、各単元で働かせた見方・考え方を統合したり発展的に考えたりする問題を設けました。	● 基礎的・基本的な知識や技能は、適度な量の練習を本文で扱うとともに、巻末の《 <b>しっかりチェック</b> 》で <b>繰り返し練習することで、習熟・定着が図れる</b> ようにしました。 ■ 全学年（《 <b>しっかりチェック</b> 》は2年以降）  ● 単元末の《 <b>わかっているかな</b> 》の《 <b>まちがいがやすい問題</b> 》では、子どもがつまずきやすい内容を、 <b>もう一度振り返れる</b> ようにしました。また《 <b>見方・考え方をみがこう</b> 》では、 <b>日常の事象を数理的に処理</b> する際に働かせる数学的な見方・考え方が、さらに豊かで確かなものとなるようにしました。 ■ 2年以降
② 基礎的・基本的な概念や性質などを理解し、日常の事象を数理的に処理する技能が身に付くように配慮されているか。	② 基礎的・基本的な内容の意味理解に重点をおいた展開にするとともに、学習したことの定着度の向上を図る機会を適宜設け、今後の学習につながる力となるようにしています。	

GIGAスクール

校種間の連携

個別最適な学び

教科書の構成

基本方針①

基本方針②

基本方針③

配慮

資料



観点	「小学算数」の内容の特色	おもな事例と関連ページ
③ 日常の事象を数理的に捉え、見通しを持ち筋道を立てて考察する力が育つように配慮されているか。	③ 単元の始まりには日常の事象を数理的に捉える場面を設定しました。また、既習事項を活用して解決の見通しを立てたり、結果の見積もりを解決に生かしたりするなど、子どもの思考力が育つような展開にしています。	<ul style="list-style-type: none"> <li>● 単元の始まりに、<b>日常の事象からの問題場面を提示</b>し、単元の学習内容に関心をもち、数理的に考察しようとする力が育つような展開にしました。 ■ 1②60 / 2上18 / 3上24 / 4上46 / 5年70 / 6年28 ほか</li> <li>● 2年以降の上巻巻頭に、<b>問題解決的な学習の展開例</b>を示した《<b>さあ、算数の学習をはじめよう!</b>》を設け、<b>子どもの主体的・対話的な学びを促</b>しました。 ■ 2上2-5 / 3上2-5 / 4上2-5 / 5年2-5 / 6年2-5</li> <li>● 2年以降の上巻巻末に、<b>問題解決的な学習過程と学習を進めていく際の着眼点</b>をまとめた《<b>学び方ガイド</b>》を添付しました。いつでも参照できるように、切り離して使えるシート加工をしています。</li> </ul>
④ 基礎的・基本的な数量や図形の性質などを見いだし統合的・発展的に考察する力が育つように配慮されているか。	④ 既習の内容を捉え直し、数量や図形の性質などを関連付ける場面を設け、統合的・発展的に考えることができるように工夫しています。	<ul style="list-style-type: none"> <li>● 既習の内容を適用して、新しい知識を得ようとする場面では、既習との統合や発展的な考察の視点を《<b>見方・考え方</b>》で具体的に示しました。 ■ 2年以降</li> <li>● 学期末、学年末に扱う《<b>復習</b>》に、<b>複数の内容を関連付けて統合的・発展的に捉え直す問題</b>、《<b>見方・考え方をみがこう</b>》を設けました。 ■ 2上98 / 3下64 / 4下136 / 5年196 / 6年204 ほか</li> <li>● 2年以降の上巻巻末には、<b>数学的な見方・考え方をその学年の内容でまとめた《算数で使いたい見方・考え方</b>》を設けました。</li> </ul>
⑤ 数学的な表現を用いて、事象を簡潔・明瞭・的確に表したり目的に応じて柔軟に表したりする力が育つように配慮されているか。	⑤ さまざまな表現様式を知った上で自分の考えを表現・説明できるようになるなど、子どもたちの数学的な表現力が育つような場面を設定しています。	<ul style="list-style-type: none"> <li>● 《<b>自分でみんなで</b>》など、子どもが自分の考えを発表する場面では、<b>数、式、図、表などさまざまな表現方法を用いた説明</b>を展開しています。 ■ 1②65-67 / 2下47-49 / 3下9-11 / 4下47-49 / 5年83-85 / 6年185-187 ほか</li> <li>● 単元内の《<b>わかっていかな</b>》に設けた《<b>見方・考え方をみがこう</b>》では各単元の内容、また、《<b>算数ジャンプ</b>》では複数の単元や領域を結び付けた内容を用いて、<b>理由や方法などを説明させる記述式の問題</b>を扱いました。 ■ 2上79 / 3上94 / 4下57 / 5年252-253 ほか</li> </ul>
⑥ 数学的活動の楽しさや、数学のよさに気付くように配慮されているか。	⑥ あらゆる場面で積極的に数学的活動を取り入れた学習を行うことを通して、活動の楽しさや数理的な考察・処理のよさが感得できるように工夫しています。	<ul style="list-style-type: none"> <li>● 単元の始まりの《<b>単元アプローチ</b>》では、子どもの<b>身近な生活場面や算数の既習事項</b>を取り扱い、その単元で学ぶ内容への興味、見通しがもてるようにしました。</li> <li>● 単元のさまざまな場面で、<b>教室内外で取り組むことができる作業的・体験的な数学的活動</b>を積極的に取り入れ、活動の楽しさ、数学のよさを味わえるようにしました。 ■ 1②31 / 2下56 / 3上64 / 4上86 / 6年167 ほか</li> <li>● 《<b>算数マイトライ</b>》の《<b>ぐっとチャレンジ</b>》《<b>もっとジャンプ</b>》では、学習したことを<b>他領域の単元、他教科と結びつけた問題</b>を用意し、それらに取り組むことで、<b>算数の世界の広がりや身近さ</b>を感じることができるようにしました。 ■ 4上154-155 / 5年298-299 / 6年274-275 ほか</li> </ul>
⑦ 学習を振り返って、よりよく問題解決しようとする態度が育つように配慮されているか。	⑦ 子どもたちが学びの過程や変容を自覚できるように、振り返りの機会を設けることを大切にしました。節目ごとに振り返りを促すように工夫しています。	<ul style="list-style-type: none"> <li>● 2年以降の上巻の《<b>さあ、算数の学習をはじめよう!</b>》、1年②《<b>さんすうのがくしゅうのすすめかた</b>》、2年以降の《<b>算数ノートをつくらう</b>》では、<b>毎時間の学習の最後に振り返りを促す</b>ように設定しました。 ■ 1②34-35 / 2年上2-5、6-7 / 2年下2-3 ほか</li> <li>● 《<b>自分でみんなで</b>》では、子どもたちの具体的な姿や側面で振り返りの視点を明示し、<b>子どもたちに振り返りが動機づけられる</b>ようにしました。</li> <li>● 単元末の《<b>〇〇の学習をふり返ろう</b>》では、毎時間の振り返りに加え、<b>単元全体での知識・技能、思考・判断・表現や主体的に学習に取り組む態度に関する振り返りを促</b>しています。 ■ 2上30 / 3上62 / 4上43 / 5年31 / 6年34 ほか</li> </ul>

観点	「小学算数」の内容の特色	おもな事例と関連ページ
⑧ 算数で学んだことを、生活や学習に活用しようとする態度が育つように配慮されているか。	⑧ 教室内外における数学的活動を通して、学習したことを実生活や新しい学習内容の問題解決にいかせるように工夫しています。	<ul style="list-style-type: none"> <li>● 単元内に《<b>使ってみよう</b>》を設け、<b>教室内外で数学的活動に取り組めるようにし、習得した知識や技能を生活や学習に活用しようとする態度</b>が育つように工夫しました。 ■ 1②50 / 2上125 / 3下91 / 5年146 / 6年136 ほか</li> <li>● 2年以降で設けた《<b>算数ジャンプ</b>》では、<b>理科や図画工作科などの他教科やSDGsや環境問題との関連</b>など、実生活と算数をつなぐ総合的な問題を用意しました。 ■ 3下112-113 / 4下130-131 / 6年196-197 ほか</li> </ul>
(3) 数学的活動が重視された学習展開で、子どもたちが主体的・対話的で深い学びを実現できるように配慮されているか。	(3) 身近にある問題をとらえて問題解決的に学習する中で、主体的に取り組む、個別最適な学びを実現できる問題設定をするとともに、考えを発表し合う協働的な学びの場を設定し、多様な学びの形に対応できるようにしました。	<ul style="list-style-type: none"> <li>● 単元の始まりの《<b>単元アプローチ</b>》では、日常の事象や算数の既習事項について話し合うことから学習を始め、<b>単元全体の学習課題がつかめる</b>ようにしました。 ■ 2下6-8、3上100、4下94、5年228、6年110</li> <li>● 各時の展開では、「めあて」と「まとめ」に加え、見通しや数学的な見方・考え方を示す学習の流れを徹底することにより、<b>数学的活動を通じた学習</b>となるようにしました。→本資料26ページ</li> <li>● 《<b>使ってみよう</b>》では、<b>身近にある問題を取り上げて自身の課題とする個別最適な学び</b>から、<b>調べたことを発表し合う協働的な学び</b>を配置し、より活動の効果が高まるような構成にしました。そこでは多くの活動の成果や作品例も提示しました。 ■ 1②26 / 3上78-79 / 4上61-62 / 5年146 / 6年24 ほか</li> </ul>
(4) 各学年の内容の次の学年以降への継続的な指導、学年間の円滑な接続への工夫が図られているか。	(4) 既習事項を確認する機会を豊富に設け、継続的な指導、学年間の円滑な接続をはかるように工夫しました。	<ul style="list-style-type: none"> <li>● 2年以降の《<b>目次</b>》では、単元名の左側に《<b>これまでの学習</b>》として、以前の学年の関連する単元名を上げ、<b>学習内容の継続性</b>が意識できるようにしました。</li> <li>● 単元前には既習事項を確認する《<b>次の学習のために</b>》、巻末には既習の学習内容を確認する《<b>〇〇までに学習したこと</b>》を設け、<b>継続的な指導、学年間の円滑な接続</b>ができるようにしました。 ■ 全学年（《<b>〇〇までに学習したこと</b>》は2年以降）</li> </ul>
(5) 領域間の指導の関連を図るための工夫がなされているか。	(5) 関連のある内容を相互に結びつけ、理解が深められるような構成にしています。	<ul style="list-style-type: none"> <li>● 複数の領域に関連する5年の難関単元「割合」の学習に向けて、3年以降に「<b>倍に関する単元を設け、その意味理解を系統立てて進められる</b>」ようにしました。単元末に<b>演算決定に関する問題を必ず用意</b>し、習熟が図れるようにしています。</li> <li>● 内容が領域間で関連深くなる高学年は、学習の効果や効率を考慮し、<b>関連する内容が連続する配列</b>にしました。 ■ わり算と倍の見方（4年） / 割合と帯グラフと円グラフ（5年） / 比と拡大図と縮図（6年）</li> </ul>
(6) 低学年、特に小学校入学当初において、幼児期の経験をもとに算数の世界に入っていく巻頭の導入を設けました。また低学年では、生活科などと関連の関連的な指導のための工夫がなされているか。	(6) 1年では、保育園や幼稚園など幼児期の経験をもとに算数の世界に入っていく巻頭の導入を設けました。また低学年では、生活科などと関連をはかった問題場面を設定しています。	<ul style="list-style-type: none"> <li>● 1年①の巻頭《<b>かずやかたちでたのしく</b>》は、絵本のように<b>読み聞かせのできる構成</b>にし、保育園や幼稚園などでの経験と算数との関連を挿絵を通して見つけられるようにしました。 ■ 1①表2（裏表紙）-13</li> <li>● 低学年は生活科を中心とした<b>合科的な指導</b>ができるよう、<b>体を動かしたり観察したりする問題場面</b>を多く取り入れました。 ■ 1①36-37 / 1②14 / 2上15 / 2上82 ほか</li> </ul>
(7) 高学年から中学校への連携、教科担任制について配慮されているか。	(7) 高学年では、中学校数学との題材の関連についても十分に配慮しています。また、教科担任制を見据えて造本を工夫しました。	<ul style="list-style-type: none"> <li>● <b>中学校数学との円滑な接続</b>を目指して、特に必要と思われる単元には中学接続マークをつけ、<b>スパイラルに学習</b>する意識が持てるようにしました。→本資料13ページ</li> <li>● 6年に《<b>もうすぐ中学生</b>》を設け中学校で学習する内容を紹介し、<b>中学数学への関心が高まる</b>ようにしました。 ■ 6年243-250</li> <li>● 5年、6年は上下巻に分けず、<b>一年間を見通した学習</b>ができるように合冊にしました。中学数学と同じつくりをすることで、<b>小中接続を意識し、中学校数学の教科書に違和感なくなじめる</b>ようにという願いも込めました。</li> <li>● 教科担任制を見据え、<b>教科担任の先生と学級担任の先生で進度を共有しやすい</b>ように、5年、6年には<b>スピン（しおりのひも）</b>をつけました。→本資料12ページ</li> </ul>



観点	「小学算数」の内容の特色	おもな事例と関連ページ
(8) 障がいのある児童などに対する指導内容や指導方法の工夫や配慮がなされているか。	(8) 特別支援教育や色覚の特性など支援を必要とする子どもたちだけでなく、すべての子どもたちが学習を進めやすくなる効果的な取り組みを行っています。	<ul style="list-style-type: none"> <li>● 色調の違いによって区別する問題や場面は避けました。</li> <li>● 色文字は使用せず、図形やグラフに使用する色数も抑え、<b>重要事項に集中できる、落ち着いた見やすい紙面づくり</b>を心掛けました。</li> <li>● すべての文を<b>読みやすい位置で改行</b>し、問題文や定義、まとめを囲み、他の部分と区別できるようにしました。</li> <li>● 視認性を向上させるため、すべての書体に<b>ユニバーサルデザインフォント</b>を採用しました。</li> <li>● <b>学習者用デジタル教科書</b>では、総ルビ表示、読み上げ、文字サイズや行間の調整などの各種機能を搭載することで、<b>学習者の負担の軽減</b>を図ります。</li> </ul>
(9) 道徳教育、道徳科との関連について配慮されているか。	(9) 算数科の特質に応じて道徳教育との関連を図り、道徳科の内容項目に関連する題材を適宜取り扱いました。	<ul style="list-style-type: none"> <li>● 問題解決の場面では、<b>自らの意見を発表し、他者の多様な考え方を尊重しながらよりよい考えを作り上げていく展開を重視</b>して、道徳心を培うことに配慮しました。 ■ 3上75-77 / 5年132-135 / 6年185-187 ほか</li> <li>● 自律した生活をおくことや、勤労、公共の精神、伝統と文化を尊重する気持ちをもつこと、国際理解など、<b>道徳科の内容項目を考慮した題材</b>を随所で扱いました。 ■ 1②122 / 2上64 / 3上48 / 4上40 / 5年172 ほか</li> </ul>
(10) 思考力、判断力、表現力等を育成するため、言語活動の充実に対して配慮がなされているか。	(10) 問題解決的な学習過程を具体的に示す場面を充実させました。また子どもの発言を示す部分では、全学年にわたって、言葉、数、図、式を使って表現するように工夫しました。ノート指導、数学的な表現の相互関連を整理する内容についてもていねいに取り上げています。	<ul style="list-style-type: none"> <li>● 全学年に設けた《<b>自分でみんな</b>》では、4段階に整理した<b>問題解決的な学習の過程と具体的な着点を示し、言語活動が充実</b>するように配慮しました。</li> <li>● <b>結果や方法の見通しを立てたり、考えたことを話し合ったりするための着点を《見方・考え方》</b>で示しました。 ■ 2上19 / 3上15 / 4上14 / 5年21 ほか</li> <li>● 1年②《<b>さんすうのがくしゅうのすすめかた</b>》、2年以降の上下巻《<b>算数ノートをつくらう</b>》には、結果だけでなく、<b>考えた過程を言葉、数、式、図などを使って説明できるように</b>、書き方の事例を掲載しました。 ■ 1②34-35 / 2上6-7 / 3下2-3 ほか</li> <li>● 《<b>よみとろうあらわそう</b>》では、言葉、数、式、図など<b>数学的な表現の相互関連を整理する内容</b>や、テープ図や数直線図のよみ方、かき方について、<b>系統的に整理</b>して扱いました。 ■ 4上164-165 / 5年312-315 / 6年292-293 ほか</li> </ul>
(11) 必要なデータを収集して分析する能力の育成が求められている統計的な内容等の充実について配慮されているか。	(11) データの活用領域では、子どもに身近な素材から、表やグラフの必要性を感じられるようにしています。また、表やグラフを使って、身の回りの事象を考察する方法や活動をていねいに扱っています。	<ul style="list-style-type: none"> <li>● 低学年では、生活科をはじめとする<b>他教科で扱う内容と関連付けて、表やグラフを扱う</b>ようにしました。 ■ 1②28-30 / 2上12-14 / 3上64-68 ほか</li> <li>● 《<b>使ってみよう</b>》では問題を自分で設定し、<b>身の回りのデータを集め、表やグラフを使って表し、考察する活動</b>を取り上げました。 ■ 2上15 / 3上78-79 / 4上61-62</li> <li>● 高学年では、統計的な問題解決の方法について子どもの関心が高まるよう、<b>PPDACサイクルを図解で詳しくていねいに扱い、実践に結び付けられる</b>ようにしました。 ■ 5年236-237 / 6年92-100</li> </ul>
(12) GIGAスクール構想をふまえた1人1台端末の活用やプログラミングの体験を通して学習効果が高められるような工夫がなされているか。	(12) 二次元コードからアクセスできる無料のデジタルコンテンツを豊富に用意しました。コンテンツの利用により、図形や数量の感覚を豊かにしたり理解を深めたりする効果が期待できます。また、全学年にプログラミング的思考について扱うページを設け、プログラミングと日常生活を結びつけて取り組めるようにしました。	<ul style="list-style-type: none"> <li>● 二次元コードからアクセスできる<b>デジタルコンテンツ</b>には、<b>シミュレーションやアニメーション、練習問題</b>など、デジタル教材を用いることで、1人1台端末を利用したより効果的な学習が実現できる内容を用意しています。 ■ 1②7 / 2上126 / 3上53 / 4下121 / 5年151 ほか</li> <li>● 全学年の下巻巻末に<b>プログラミング的思考</b>を扱う《<b>レッツプログラミング</b>》のページを設けました。5年、6年では、プログラミング言語Scratchを用いて、実際にプログラミングに取り組める内容になっています。 ■ 4下134-135 / 5年258-259 / 6年202-203 ほか</li> <li>● より効果的な学習のために、デジタル教科書やデジタル教材も販売する予定です。→ 本資料68-69ページ</li> </ul>

#### 4. 構成・配列

観点	「小学算数」の内容の特色	おもな事例と関連ページ
(1) 単元の構成・配列は子どもの発達の段階に応じた考慮がなされているか。	(1) 各学年の領域の系統と特色、子どもの発達の段階を考慮して単元を配列しています。また、反復練習を要する内容は早期に配列し、その学年内での確実な定着を図りました。また、本文では、各時間の学習の流れがわかるように、学習過程を可視化しました。	<ul style="list-style-type: none"> <li>● 今後の学習につながる素地的内容が多い低学年は、<b>単元を分散的に構成し、同じ内容が長い期間続かない</b>ようにしました。 ■ 「どちらがながい」と「どちらがおおい どちらがひろい」(1年)</li> <li>● 内容が領域間で関連深くなる<b>高学年は、学習の効果効率を考慮し、関連する内容をまとめた配列</b>にしました。 ■ 「整数の性質」と「分数のたし算とひき算」(5年) / 「円の面積」と「角柱と円柱の体積」(6年) ほか</li> <li>● 各学年で<b>習熟に時間を要する内容は、できるだけ早期</b>に学習するような配列にしました。 ■ 「たし算とひき算」(3年) / 「わり算」(3・4年) ほか</li> <li>● 各時間に「<b>めあて</b>」と「<b>まとめ</b>」を設け、学習内容を焦点化し、タイトルをつけて紙面に明示しています。 ■ 2年以降</li> </ul>
(2) 本文の問題、練習問題の程度や分量は適切か。	(2) 本文の問題や練習問題は、子どもの発達の段階を考慮して、基礎的・基本的なものに重点を置くようにしています。また、練習や復習などの問題は、理解を定着・習熟させるのに必要な分量になっています。	<ul style="list-style-type: none"> <li>● 各学年で<b>重要な基礎的・基本的な内容に十分なページ数を取り</b>、時間をかけて定着できるようにしました。</li> <li>● 単元末《<b>たしかめよう</b>》の問題は、本編の問題と同程度の内容で構成し、<b>本編の学習だけでは解けない難易度の高いものは取り扱わない</b>ようにしました。</li> <li>● 巻末《<b>しっかりチェック</b>》は、本編の問題や「直後の練習」を補完する内容で、<b>基本的な問題と少し進んだ問題を設けた難易度別の構成</b>にしています。これらの問題は、個人や学級の状況に応じて、<b>授業や家庭学習のいずれでも取り組める</b>ようにしました。 ■ 2年以降</li> </ul>
(3) 基礎・基本の定着や維持の機会が適切に設けられているか。	(3) 基礎的・基本的な知識や技能については、単元の導入前に既習事項を振り返ったり、単元末に確認の機会を設けたり、単元間に適宜復習の機会を設けたりして、既習事項の定着や維持を図っています。また、子どもたちのつまずきへの対応を図るための工夫をしています。	<ul style="list-style-type: none"> <li>● 新しい単元に入る前に、学習する内容のもとになる既習事項を確認する《<b>次の学習のために</b>》を設けました。単なる知識や技能を確認するだけでなく、<b>学習の根底となる考え方も振り返り</b>することができます。 ■ 全学年</li> <li>● 各単元では、「直後の練習」、《<b>わかっているかな</b>》、《<b>たしかめよう</b>》のように層を重ね、<b>つまずきの発見や能力の深化が図れる</b>ようにしました。 ■ 全学年</li> <li>● 単元末の《<b>わかっているかな</b>》に、《<b>まちがいやすい問題</b>》を設け、<b>子どもがつまずきやすい内容についてもう一度確認し、苦手とする内容への対応が図れる</b>ようにしました。全国学力・学習状況調査や各地域での学力調査において通過率の低い問題を重点的に取り上げています。 ■ 2年以降</li> <li>● 学期末に《<b>復習</b>》、学年末に《<b>〇年の復習</b>》、巻末に《<b>しっかりチェック</b>》を設け、<b>基礎的・基本的な内容が確実に定着する</b>ようにしました。</li> </ul>
(4) 子ども一人ひとりの個性を伸ばすことや、習熟の程度に応じた学習ができるように配慮されているか。	(4) 個に応じ、個を生かした学習ができるような構成を工夫しています。学習が遅れがちな子どもにとっても、算数が得意でもっと勉強したい子どもにとっても、学習に取り組みやすいきめ細かな展開となるように配慮しています。	<ul style="list-style-type: none"> <li>● 2年以降の巻末《<b>算数マイトライ</b>》では、子どもの実態に応じて柔軟に取り扱いができる多彩な問題を集めました。</li> <li>● 《<b>しっかりチェック</b>》は、<b>各時間に取り組んだ問題の類題、《ぐっとチャレンジ》</b>は、単元の学習をふまえ、<b>見方・考え方を広げ深める応用的な内容や、学習指導要領に示されていない発展的な内容、《もっとジャンプ》</b>は、課題解決の喜びが感じられるような、<b>活用や探究につながる内容</b>で構成しました。算数への興味・関心を高めたり、数学的なおもしろさを実感できたりする題材を用意し、様々な視点から問題に取り組めるようにしました。</li> <li>● 6年の《<b>マテマランドを探検しよう!</b>》は、<b>算数の世界をテーマパークになぞらえ</b>、ユークリッド、関孝和、タングラム、小町算など、算数・数学に関連したバラエティ豊かな題材を取り扱っています。「パズルエリア」「歴史エリア」「ふしぎエリア」の3つのエリアから、<b>個人やグループの興味・関心に応じて課題を選択し、学習を進められる</b>ようにしました。 ■ 6年208-227</li> </ul>



観点	「小学算数」の内容の特色	おもな事例と関連ページ
(5) 教科書全体の分量と確保できる指導時数は、合理的で均衡がとれているか。	(5) 標準指導時数で、余裕を持って学習できる分量で構成しています。単元は、導入は2ページ 時間、展開は1ページ 時間の指導時数を原則としてあて、無理なく学習が進められるようにしています。	<ul style="list-style-type: none"> <li>● 学習指導要領で示された<b>標準時数の範囲内でゆとりをもって指導できるような分量</b>で構成し、各学年とも年間7～18時間程度の予備時間を設け、<b>学習内容の定着と維持が十分に図れる</b>ように配慮しました。</li> <li>● 質・量ともに充実した教科書を目指し、2年以降の巻末には《算数マイトライ》を設けました。本編の学習をふまえた選択内容で、<b>個別最適な学びの実現</b>が可能となるようにしました。</li> </ul>
(6) カリキュラム・マネジメントの確立のために、他教科及び総合的な学習の時間などへの関連について配慮されているか。	(6) 取り扱う素材や場面は、他教科や総合的な学習の時間と関連の深いものを教科横断的に取り上げ、合理的な指導に役立つようにしています。さらに、現代的な諸課題に関連した学習材も開発し、積極的に取り上げています。	<ul style="list-style-type: none"> <li>● 学校での生活場面、気温の変化、トライアスロン、マラソン、作物の取れ高、英語による問題の表現など、<b>生活科・理科・体育科・社会科・外国語などの教科と関連の深い題材</b>を取り上げました。 ■ 1①36-37 / 1②14 / 2上15 / 3上38 / 4上46-48 / 4下128-129 / 5年12、233 / 6年167 ほか</li> <li>● 2年以降の各巻巻末には《さくいん》を設け、<b>国語科の辞書を使った学習との関連</b>が図れるようにしました。</li> <li>● 5年、6年《さくいん》には<b>英語も併記し、外国語との関連</b>が図れるようにしました。 ■ 5年318 / 6年294</li> <li>● 防災的な視点と算数を関連付けて紹介したり考えたりする内容や、<b>安全の視点から表やグラフを作成する題材</b>を取り上げました。 ■ 2下61 / 3上133 / 4上57-58 / 5年238 / 6年101 ほか</li> <li>● <b>伝統文化、国際理解、環境教育、福祉など、ESDやSDGsに関連のある題材や話題</b>を取り上げ、総合的な学習への参考となるように配慮しました。 ■ 3上114、122 / 4上12-13、40 / 5年172、252-255 / 6年142-143、196-197 ほか</li> </ul>
(7) 教科書を有効に活用するため、体裁や構成は創意・工夫がなされているか。	(7) 子どもの発達の段階に考慮し、効果的な学習ができるような体裁や構成になっています。	<ul style="list-style-type: none"> <li>● 教科書の判型は<b>B5判</b>にしました。4年までの教科書は、内容の質・量の充実に伴うページ数の増加による子どもの重量負担を軽減するために<b>2分冊</b>にしました。</li> <li>● <b>1年の第1分冊は、従来よりページ数の少ない中綴じ</b>にし、巻頭を<b>読み聞かせしやすい絵本仕立て</b>にしました。軽量化にもつながり、入学期の負担を軽減する工夫となっています。</li> <li>● 巻末に設けた切り取り用の図形やパーツなどには<b>ミシン目を入れ、時間の効率化が図れる</b>ようにしました。</li> </ul>
(8) 素材はどの地域にも適し、子どもの生活経験や興味・関心について配慮されているか。	(8) 素材は、子どもの生活や経験の中から、興味・関心の深いものを取り上げるようにしています。	<ul style="list-style-type: none"> <li>● 素材の選定にあたっては、特定の地域に偏って取り上げることがないように配慮するとともに、<b>季節感や子どもの日常生活での経験を重視した素材や場面</b>を取り上げるようにしました。</li> </ul>
(9) 教科書のレイアウトやイラストは、子どもたちの親しみやすさや学習意欲を高めるような工夫がなされているか。	(9) 表紙を含むレイアウトやイラストは子どもが親しみのもてるものにし、子どもの関心を高め、算数が楽しみになる学習指導が図れるように努めています。	<ul style="list-style-type: none"> <li>● 各学年の表紙には<b>その学年で学習する内容が描かれていて、全学年の表紙を並べると大きな算数の街</b>が出現します。<b>表紙から算数の要素を探すという、算数の授業開きにも使える内容</b>です。→ 本資料3-4ページ</li> <li>● 登場する子どもキャラクターは低、中、高学年と学年で成長していくように描き分け、表情も豊かになるよう設定しました。話し合い活動などで何度も登場するので<b>子どもたちも親しみを感じることが</b>できます。</li> </ul>
(10) 「社会に開かれた教育課程」の実現を目指し、学校(授業)と家庭(自学)の両方の場面で、教科書を有効に使用できる工夫がなされているか。	(10) 学校でも家庭でも、教科書を有効に活用でき、しかも子どもにも学習習慣が確立されるような構成にしています。	<ul style="list-style-type: none"> <li>● 2年以降の上・下巻頭に《教科書の使い方》を設け、<b>教科書で使われているマークの意味や各コーナーの設定意図</b>などを保護者にもわかるように解説しました。</li> <li>● 単元前の《次の学習のために》、巻末の《算数マイトライ》は、<b>子どもの実態に応じて柔軟に取り扱い、家庭学習においても有効に利用できる</b>ようにしました。《次の学習のために》には、家庭学習などで役立つよう、<b>デジタルコンテンツでヒントと答え</b>を示しました。→ 本資料7ページ ■ 全学年(《算数マイトライ》は2年以降)</li> </ul>

観点	「小学算数」の内容の特色	おもな事例と関連ページ
(11) 学習評価に関する配慮がなされているか。	(11) 単元末や巻末の練習問題などでは、自己評価を促すような工夫をしています。	<ul style="list-style-type: none"> <li>● 《たしかめよう》では、各問題に<b>フィードバックページ</b>を示したり、巻末《算数マイトライ》では解答を示したりして、子どもたちに<b>自己評価</b>を促す工夫を行いました。 ■ 全学年(《算数マイトライ》は2年以降)</li> </ul>

## 5. 正確性及び表記・表現

観点	「小学算数」の内容の特色	おもな事例と関連ページ
(1) 算数の特色を十分に生かした表現になっているか。	(1) 算数独自の用語や記号はもちろん、数式、図表なども正確で簡潔な表記や表現にして、より進んだ数学的な考え方や処理の仕方を導き出しやすいようにしています。	<ul style="list-style-type: none"> <li>● 学習指導要領に掲げられた用語や、学習を進める上で必要な<b>数学用語や説明については、本文と書体を変えて表記し</b>、理解が十分図れるようにしました。</li> <li>● <b>ことばの式、式、数直線図などをうまく組み合わせ、計算の仕方を導き出させ、計算の意味が理解しやすい</b>ようにしました。また、これらの内容は、《よみとろうあわそう》で<b>系統的に整理</b>しました。</li> </ul>
(2) 人権尊重やユニバーサルデザインなどへの配慮がなされているか。	(2) 男女平等など人権を尊重した取り扱いをしています。また、すべての子どもたちが学習を進める上で読み取りやすい紙面となるよう配慮しました。	<ul style="list-style-type: none"> <li>● 男女の役割分担などの既存概念を排除するなど、素材や場面の選定においては、<b>人権面や社会的な性差別を助長することのないように配慮</b>しました。</li> <li>● すべての文を<b>読みやすい位置で改行</b>したり、他の箇所と区別できるように問題文やまとめを囲んだりしました。</li> <li>● <b>ユニバーサルデザインフォント</b>を使用し、より読みやすい紙面となっています。</li> </ul>
(3) 表記や表現は、子どもの発達の段階に適合しているか。	(3) 算数独自の簡潔な表記や表現を保ちながら、平易で親しみがもてるように工夫しています。また、当該学年で学習する漢字以上の漢字には、ページ初出でふりがなをつけています。	<ul style="list-style-type: none"> <li>● 誤解やあいまいな理解を与えないように、<b>解説や説明は、ていねいさと正確さに注意し</b>、イラストや図などによって的確に理解できるように配慮しました。</li> <li>● 漢字は、国語科の学習との関連を重視し、原則、<b>当該学年までの配当漢字</b>を用いました。また、<b>当該学年以上の漢字はページ初出ごとにふりがな</b>をつけ、読みの抵抗が少なくなるようにしました。</li> </ul>
(4) 資料は効果的で、子どもの思考を促すように工夫がなされているか。	(4) 資料は、本文の情景や関係が具体的に捉えられるような関連の深いものを選定し、本文の問題場面を明確に把握・理解できるようにしています。	<ul style="list-style-type: none"> <li>● 子どもたち自身の問題として調査し、資料を作成して考察するという実践的な力や態度を培うことができるような、<b>身近で興味深い資料</b>を取り上げました。</li> <li>● 統計資料は、算数科のねらいと他教科との関連を図りながら学習効果を高めるために、<b>正確でできるだけ新しいもの</b>を用いるようにしました。</li> </ul>

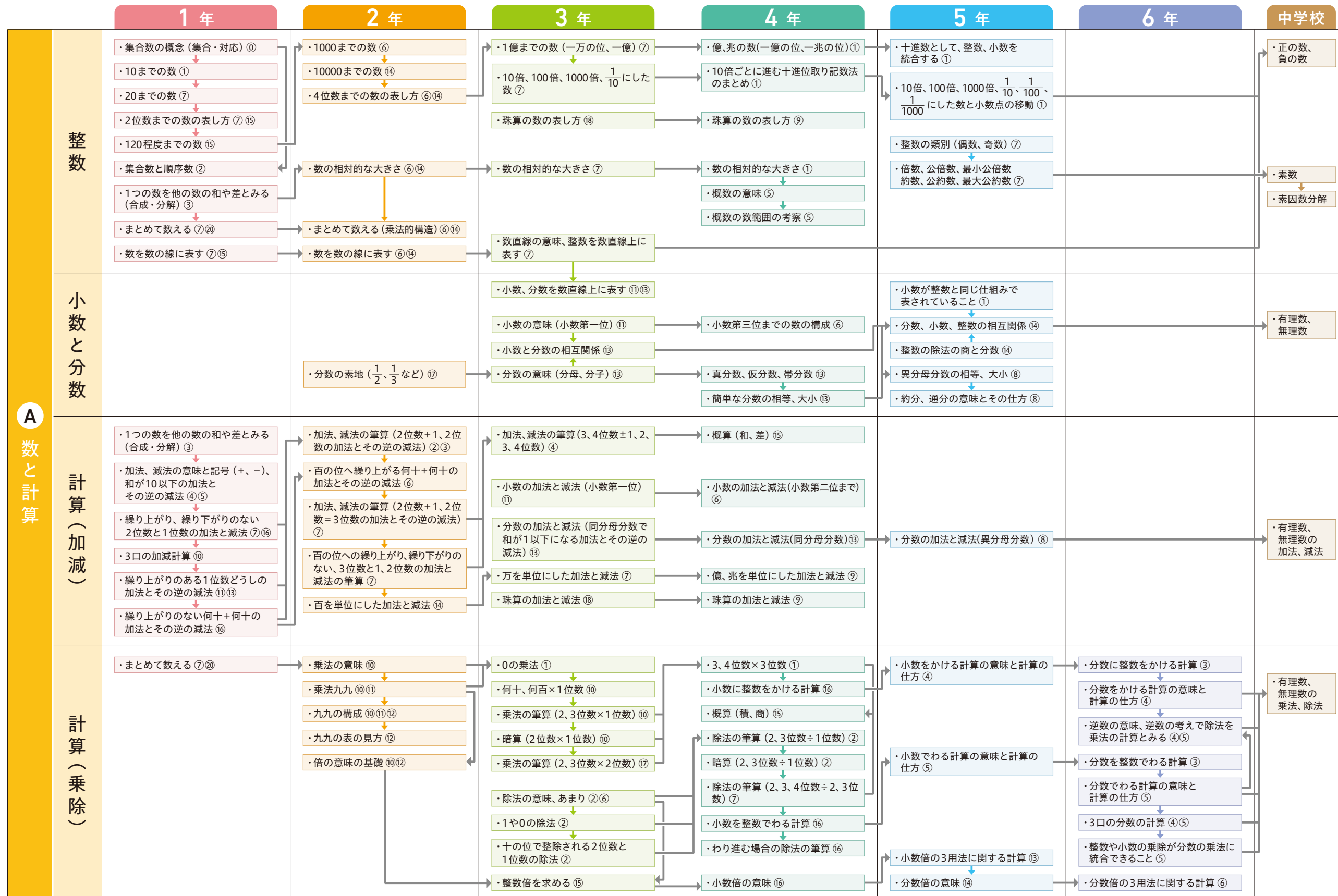
## 6. 造本

観点	「小学算数」の内容の特色	おもな事例
(1) 文字の大きさ、行間、字間は適切であるか。	(1) 文字の大きさ、字間、行間は、子どもの発達の段階などに合わせて、読みやすく、見やすくなるように配慮しています。	<ul style="list-style-type: none"> <li>● 文字組はできるだけ<b>行間をあけて、ゆったりと読みやすく</b>しました。また、字体は教科書体を用い、重要語句などのゴシック体や書き文字書体も教科書用の字形にして、国語科の学習と齟齬が生じないようにしました。</li> </ul>
(2) 装丁は魅力があり、紙質、製本は長期間の使用に耐えるようにできているか。	(2) 装丁や製本は、長期間の使用にも耐え得る堅牢な造りにしています。	<ul style="list-style-type: none"> <li>● 表紙は、<b>耐水性や堅牢性を考慮</b>して、従来より工夫された表面加工を施し、破損しにくいようにしました。その際、化学物質に過敏な子どもに少しでもやさしいものになるように配慮しました。</li> <li>● <b>折込は本文より紙質を厚くして、堅牢性に配慮</b>した造りとなるようにしました。</li> <li>● 5年、6年は、教科担任制を見据え、<b>スピン(しおりのひも)のついた装丁</b>にしました。</li> </ul>
(3) 印刷や造本で、環境・健康への配慮はなされているか。	(3) 本文用紙は紙質を保ちつつ軽量化した再生紙を使用しています。また、印刷は植物性インクを使用しています。	<ul style="list-style-type: none"> <li>● 本文用紙は、子どもの負担をできるだけ軽減するため、通常よりも軽くて裏写りの少ない用紙を使用しました。また、身体的な負担の大きい<b>1年の第1分冊はより薄く</b>して、さらに子どもへの負担を軽減しました。</li> <li>● <b>印刷は植物性インク</b>を使用し、環境や人体への影響が少なくなるようにしました。</li> </ul>



# 領域別系統表

※ 行末の①、②、…は単元番号を表しています。



GIGAスクール

校種間の連携

個別最適な学び

教科書の構成

基本方針①

基本方針②

基本方針③

配慮

資料



	1年	2年	3年	4年	5年	6年	中学校	
A 数と計算	式	<ul style="list-style-type: none"> <li>・加法の記号(+), 減法の記号(-), 等号(=)を用いた式④⑤</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・( )の意味と使い方⑦</li> <li>・乗法の記号(×)を用いた式⑩</li> <li>・数と数の大小関係を&gt;, &lt;を用いて表す⑥⑭</li> <li>・未知数を□として式に表す⑮</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・等号の意味⑦</li> <li>・不等号の意味⑦</li> <li>・除法の記号(÷)を用いた式②</li> <li>・除法の式の意味を考える②</li> <li>・あまりのある除法の式⑥</li> <li>・ことばの式②⑩⑭⑰</li> <li>・数量の関係を□を使った式に表し, □にあてはまる数を求める⑭</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・2段階以上の問題を1つの式にまとめる⑪</li> <li>・計算順序の規約 ( )内先行, 乗除先行⑪</li> <li>・公式(長方形, 正方形の面積)⑫</li> <li>・ことばの式②⑦⑪⑭⑯</li> <li>・値の組の関係を□, △を用いた式に表す⑭</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・速さ, 道のり, 時間を求める式⑩</li> <li>・割合, 比較量, 基準量を求める式⑮</li> <li>・公式(平行四辺形, 三角形, 台形, ひし形の面積)⑪</li> <li>・公式(直方体, 立方体の体積)②</li> <li>・公式などで示している関係が小数の場合でも用いられること④</li> <li>・数量の関係を□, △を用いた式に表す③</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・比例式(<math>a:b=c:d</math>)⑪</li> <li>・比例, 反比例の関係を表す式⑭</li> <li>・公式(円の面積)⑧</li> <li>・公式(角柱, 円柱の体積)⑨</li> <li>・公式などで示している関係が分数の場合でも用いられること④</li> <li>・数量の関係を文字(<math>a, x, y</math>)を用いた式に表す②</li> <li>・計算法則を表す式④</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・方程式を解くこと(1元1次, 2元1次, 2次)</li> <li>・文字式で法則や関係を表す</li> </ul>
	計算法則	<ul style="list-style-type: none"> <li>・加法の性質, 交換法則②</li> <li>・加法と減法の相互関係(検算に用いる)③</li> <li>・加法の結合法則⑦</li> <li>・乗法の性質(乗数の増加と積の関係, 交換性, 分配性)⑩⑪⑫</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・整数における加法の交換法則と, 加法と減法の相互関係, 結合法則④</li> <li>・乗法の交換法則, 結合法則, 分配法則①</li> <li>・乗数の増減と積の関係①</li> <li>・除法と乗法(除法の答えは乗法九九で求める)②</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・和, 差, 積, 商の意味②</li> <li>・整数の計算が交換, 結合, 分配の法則に基づいていること⑪</li> <li>・小数の加法, 減法も整数の計算と同じ法則に基づいていること⑪</li> <li>・( )や四則のまじった計算⑪</li> <li>・除法に関して成り立つ性質⑦</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・小数でも計算法則が成り立つこと④</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・分数でも計算法則が成り立つこと④</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・計算法則の負の数への拡張</li> </ul>	
	問題の考え方	<ul style="list-style-type: none"> <li>・絵と文章による合併, 増加, 求残, 求補, 求差の問題④⑤</li> <li>・問題の場面に合わせて簡単な図を使って考える⑮</li> <li>・順思考の問題, 順序の問題 間接加法, 間接減法 求大加法, 求小減法⑮</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・加法, 減法の場面をテープ図を使って表す⑮</li> <li>・逆思考の問題 減法逆減法, 減法逆加法 加法逆減法⑮</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・2本のテープ図を使って考える 倍の第1用法, 第2用法, 第3用法⑮</li> <li>・ことばの式を使って考える 加法逆減法, 減法逆加法⑭</li> </ul>	C 変化と関係(倍・割合・比)へ			
	関数の考え	<ul style="list-style-type: none"> <li>・10の補数関係(一方が1ずつ増えると他方が1ずつ減る)③</li> <li>・100までの数表の並び方⑮</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・九九の構成(乗数が1増えると, 積は被乗数だけ増える)⑩⑪⑫</li> <li>・九九の表での数の並び方⑫</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・乗数と積の相互関係(乗数が1増減すると, 積は被乗数だけ増減する)①</li> </ul>	C 変化と関係(関数の考え)へ			

GIGAスクール

校種間の連携

個別最適な学び

教科書の構成

基本方針①

基本方針②

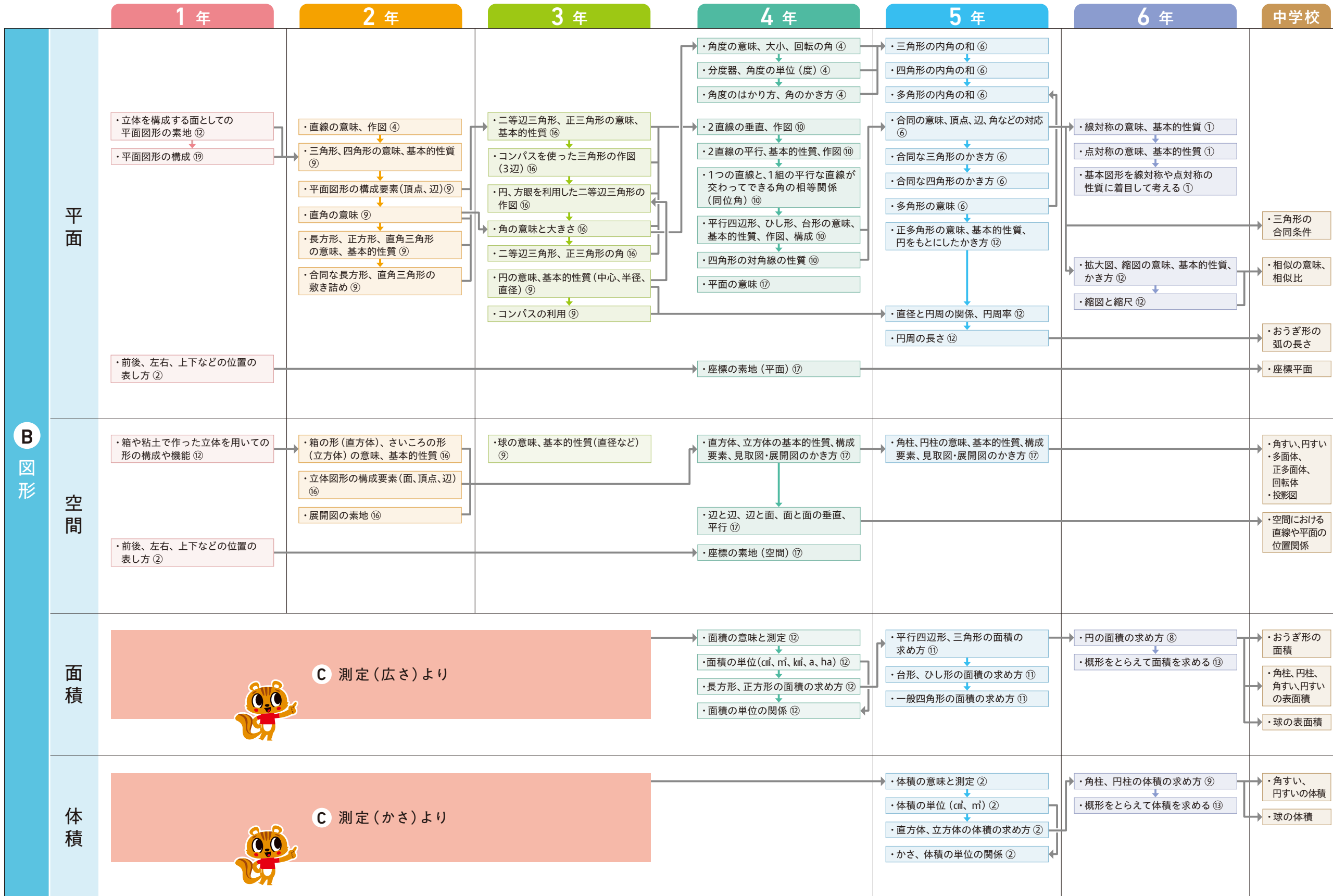
基本方針③

配慮

資料

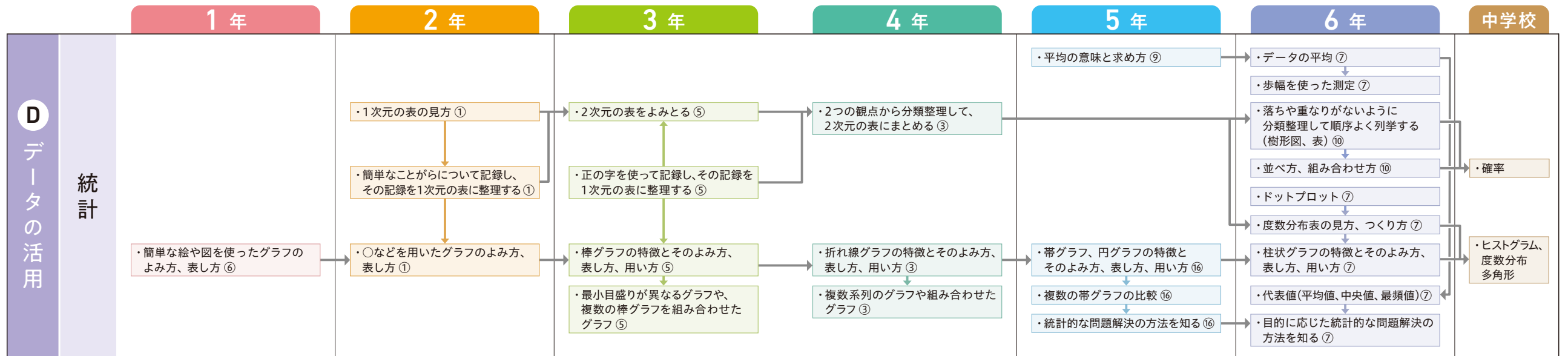
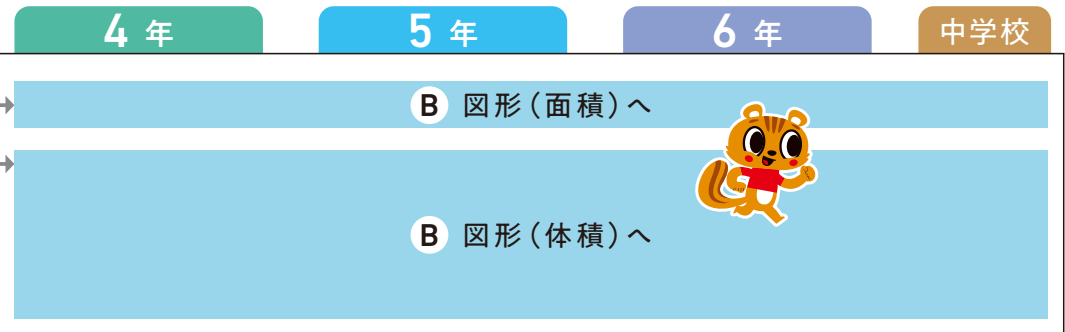
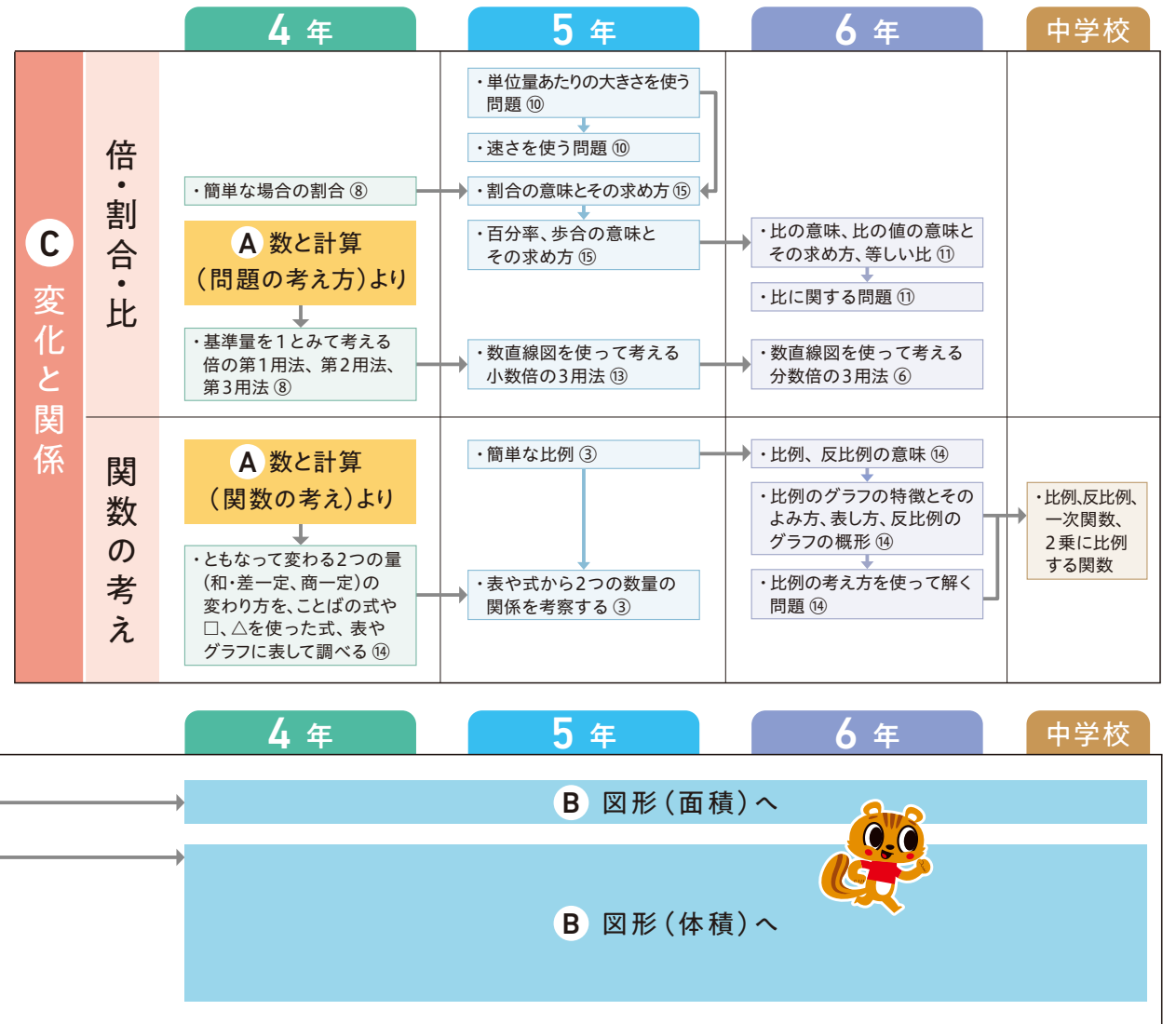
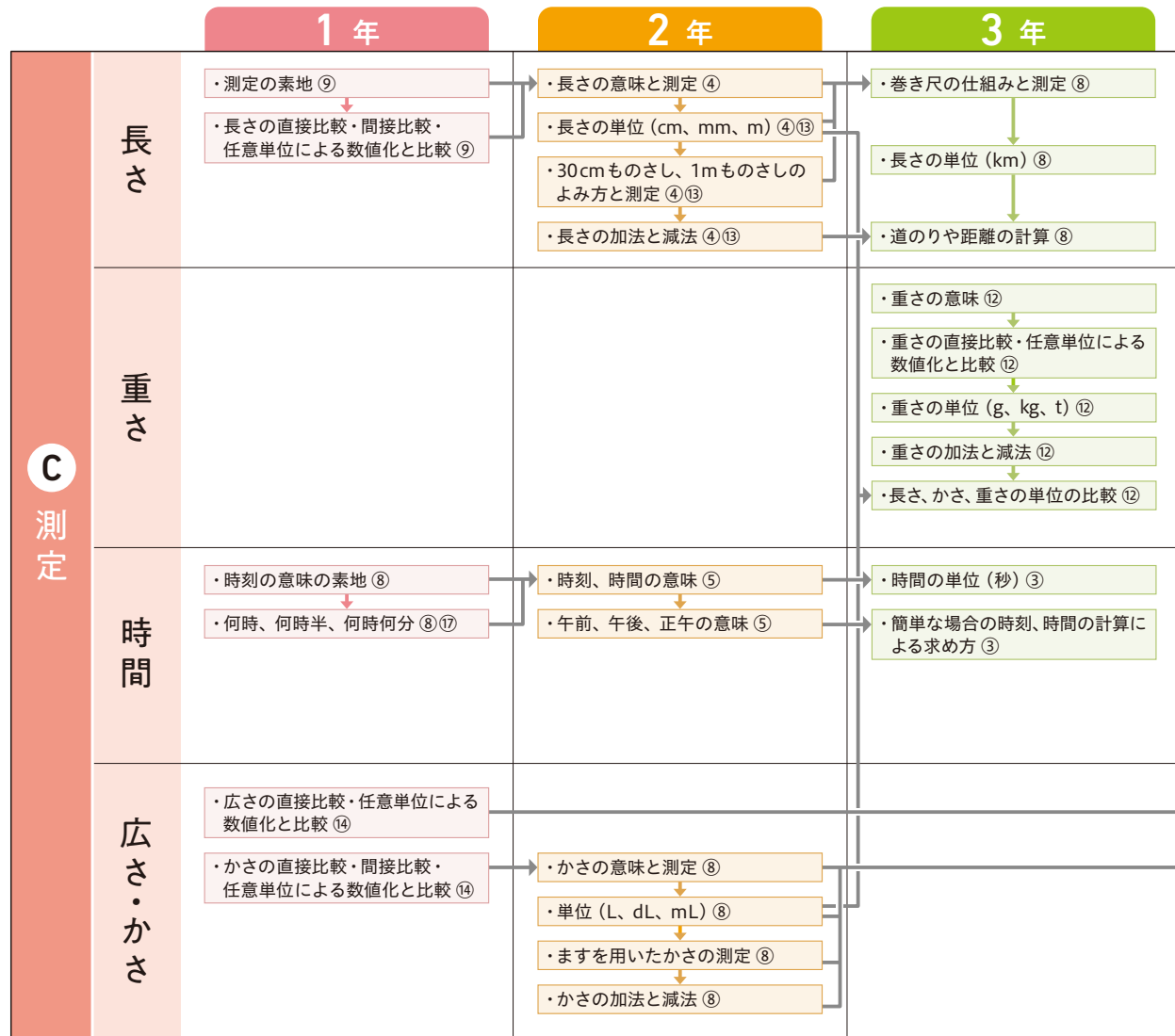






GIGAスクール  
 校種間の連携  
 個別最適な学び  
 教科書の構成  
 基本方針①  
 基本方針②  
 基本方針③  
 配慮  
 資料







# 表現(図)の取り扱いと系統

図・ことば・式などの関連

**1年**

・ことばと絵とブロックの操作と式(整数の加法)

3と2をあわせると、5になります。  
しき  $3 + 2 = 5$     こたえ 5ひき    ②p.4

・ことばと絵とブロックの操作と式(整数の減法)

5から2をとると、3になります。  
しき  $5 - 2 = 3$     こたえ 3ひき    ②p.16

**2年**

・図と式(10を単位にした加法)

1 50円のガムと80円のあめを買うと、何円になりますか。

しき  $50 + 80 = 130$     答え  $130$ 円    Up.78

・絵とブロックとことばと式(乗法の式)

同じ数ずつまとまっているときのあらわし方をしらべよう。

1台に4人ずつ3台分て、12人です。このことをしきてつぎのようにかきます。

しき  $4 \times 3 = 12$   
「四かける三は十二」  
 $4 \times 3 = 12$   
1つ分の数    いくつ分    ぜんぶの数    Tp.10

**3年**

・図とことばと式(小数の加法)

0.5は0.1の5こ分  
0.2は0.1の2こ分  
あわせると、0.1の□こ分なるから□

0.5 + 0.2 = □    答え □L    Tp.29

・図とことばと式(分数の加法)

$\frac{2}{5} + \frac{1}{5} = \square$     答え □L    Tp.60

**4年**

・図と表とことばと式(だんの数とまわりの長さの関係)

ゆい

だんの数(だん)	1	2	3	4	...
まわりの長さ(cm)	4	8	12	16	...

表を横に見ると、だんが1だんふえると、まわりの長さが4cmずつふえる。

はると

だんの数(だん)	1	2	3	4	...
まわりの長さ(cm)	4	8	12	16	...

表をたてに見ると、だんの数に4をかけるとまわりの長さが求められる。

そうた

だんの数をふやすと、いつも●をつけたところのぼうが前のだんからふえる。だから、いつも4cmずつふえる。

ひまり

色のついたぼうを動かすと、大きな正方形になる。大きな正方形の1辺の長さは、だんの数なので、だんの数×4=まわりの長さになる。

②p.84-85

加法・減法の図

**1年**

・絵を使った図やドット図の導入

しき  $3 + 2 = 5$     こたえ 5こ    ②p.5

・ドット図の利用

3の「おおい」ときの「ずは」こうだったけど...

しき  $3 + 2 = 5$     こたえ 5ひき    ②p.8

・ドット図の移行

しき  $7 + 4 = 11$     こたえ 11ひき    ②p.130

**2年**

・ドット図を重ねたテープ図

しき  $15 + 8 = 23$     こたえ 23まい    Up.27

・分割されたテープ図

しき  $23 + 7 = 30$     こたえ 30まい    Up.41

・テープ図への移行

はじめに12人いました。

7人帰りました。

のこりは何人ですか。

のこり □人 帰った 7人

上のもんだいはつぎのような図であらわして考えることもできます。

しき  $12 - 7 = 5$     こたえ 5人    Tp.80

**3年**

・線分図への移行

全部 □こ    先月 375こ    今月 264こ    ②p.49

左の図は2年で学習したね。

わからない数は、□を使って表します。

**「よみとろう あらわそう」のご紹介**

「よみとろう あらわそう」では、図の見方やかき方を系統的に整理しています。いつでも図の使い方の確認ができます。

[よみとろう あらわそう 314ページ](#)    詳しくは 本資料 p.35

5年p.215

5年p.314-315

GIGAスクール  
校種間の連携  
個別最適な学び  
教科書の構成  
基本方針①  
基本方針②  
基本方針③  
配慮  
資料



2年

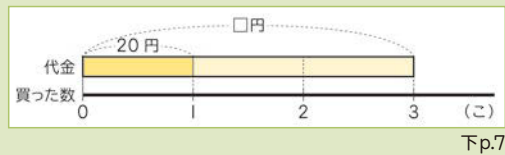
・絵とドット図の利用



下p.13

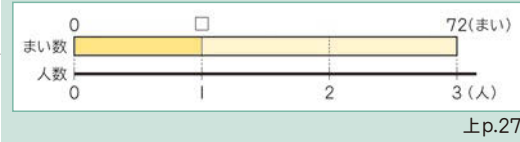
3年

・テープ数直線図の導入 (整数の乗法)

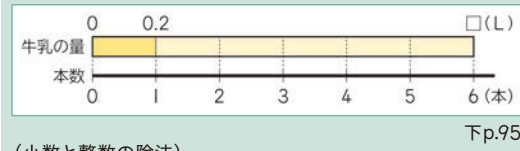


4年

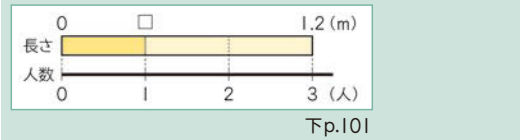
・テープ数直線図の利用 (整数の除法)



・テープ数直線図の利用 (小数と整数の乗法)

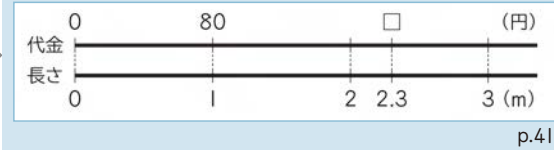


(小数と整数の除法)

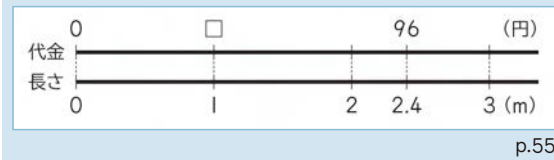


5年

・2本数直線図への移行 (小数の乗法)

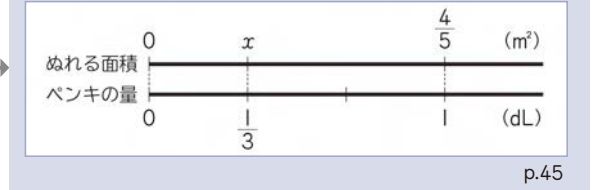


・2本数直線図の利用 (小数の除法)

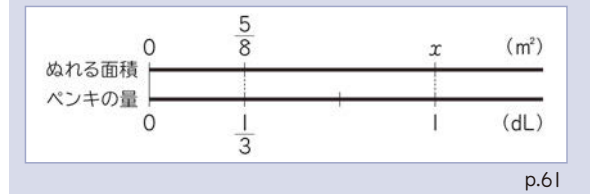


6年

・2本数直線図の利用 (分数の乗法)



・2本数直線図の利用 (分数の除法)



2年

・テープ図の素地

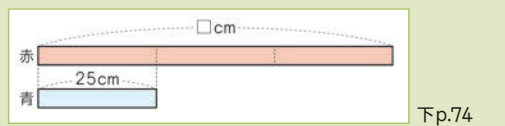
4×3: 4cmのテープの3倍の長さのテープは何cmですか。



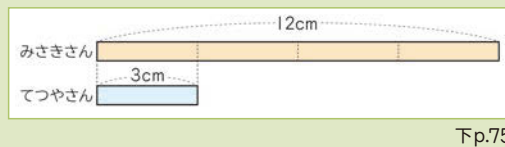
3年

・テープ図の導入

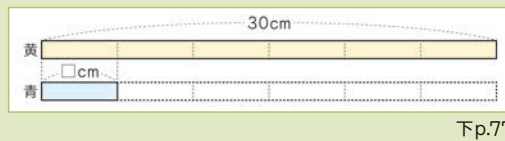
(第2用法) 25×3: 赤のテープの長さは何cmですか。



(第1用法) 12÷3: みさきさんのテープの長さは、てつやさんのテープの長さの何倍ですか。



(第3用法) 30÷6: 青のテープの長さは何cmですか。



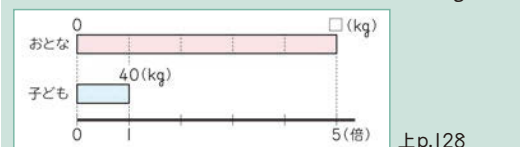
4年

・テープ数直線図への移行

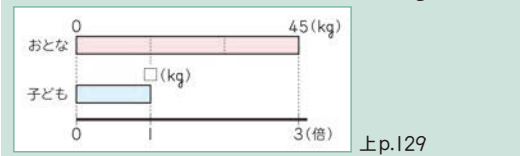
(第1用法) 96÷24: シロナガスクジラの体重はザトウクジラの体重の何倍ですか。



(第2用法) 40×5: おとなのホッキョクグマの体重は何kgですか。

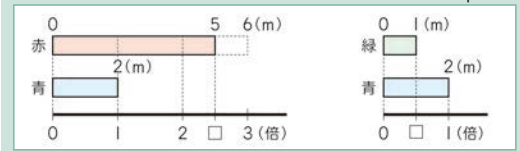


(第3用法) 45÷3: 子どものラッコの体重は何kgですか。



・テープ数直線図の利用 (小数倍)

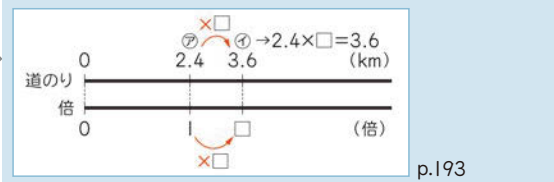
5÷2, 1÷2: 赤と緑のテープの長さは、青のテープの長さの何倍ですか。



5年

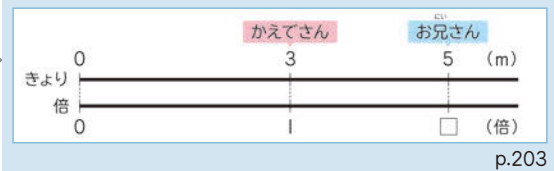
・2本数直線図への移行 (小数倍)

3.6÷2.4: 3.6kmは2.4kmの何倍ですか。



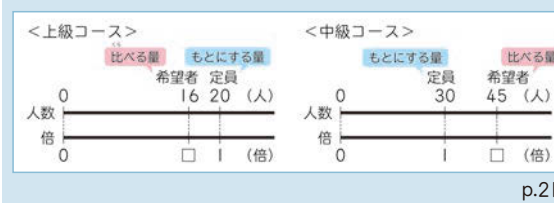
・2本数直線図の利用 (分数倍)

5÷3: お兄さんの距離は、かえでさんの距離の何倍ですか。



・2本数直線図の利用 (割合)

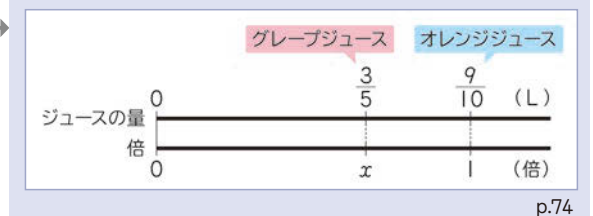
16÷20, 45÷30: 定員をもとにすると、上級コースと中級コースの希望者の数は、それぞれ何倍になりますか。



6年

・2本数直線図の利用 (分数倍)

3/5 ÷ 9/10: グレープジュースの量は、オレンジジュースの量の何倍にあたりますか。





# デジタル教科書・デジタル教材のご紹介

## 学習者用デジタル教科書

1人1台端末で利用します。  
令和6年度版では、下記基本機能に加え、一部シミュレーション及び正誤判定機能が搭載される予定です。

## 学習者用デジタル教材

学習者用デジタル教科書と一体的に利用することでより学習を深めることができます。

## 指導者用デジタル教科書(教材)

電子黒板などで提示することができます。

個別最適な学びの実現を目指し、  
授業や個別学習のサポートとなる機能・コンテンツを用意しています。

役立つ機能が  
満載です!

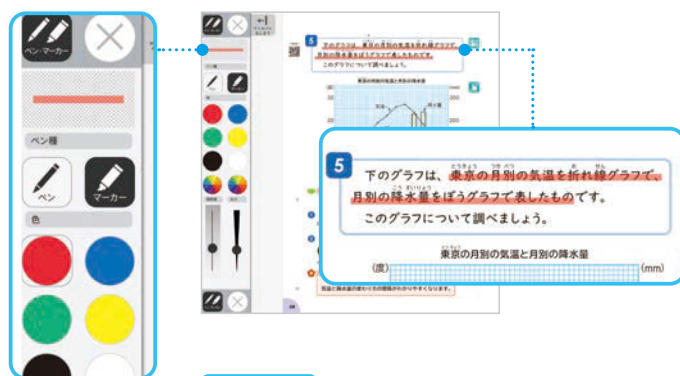


## 学習者用デジタル教科書

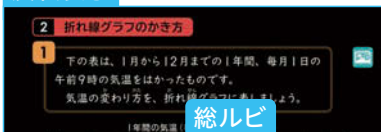
### ポイント 1

#### いつでも拡大、いつでも書き込み

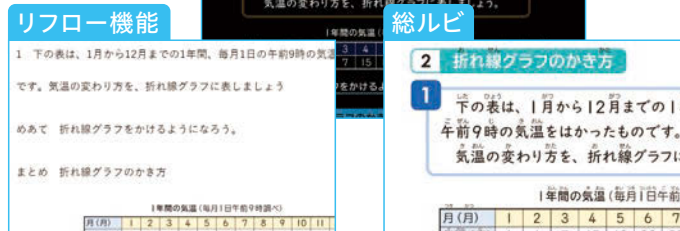
利用頻度の高い「拡大」「ペンツール」「ページ送り」の基本機能をいつでも使いやすいように配置しています。何度でも書いたり消したりを繰り返すことができ、間違いを恐れず考えを深めることができます。



### 反転表示



### 総ルビ



### ポイント 2

#### 充実した学習支援機能

文字色や背景色の変更、行間・文字の大きさ変更(リフロー機能)、本文の音声読み上げ、総ルビ表示など、学習を進めやすくするための機能を実装しています。一人ひとりの特性に合った学習をサポートします。

### ポイント 3

#### 多様な利用環境に対応

Windows/Chrome/iPadの3種のOSに対応しています。また、各種マニュアルや動画での解説、実践事例の紹介など役立つ情報をデジタル教科書専用のホームページにてご提供し、授業をサポートします。



## 指導者用デジタル教科書(教材)

## 学習者用デジタル教材



単元アプローチのイラストが動きます。これから学習する内容に子どもたちを引き込みます。

### ポイント 2

次の計算をしましょう。

①  $26+52$     ②  $38+15$     ③  $84+63$

④  $74+49$     ⑤  $45+56$     ⑥  $217+74$

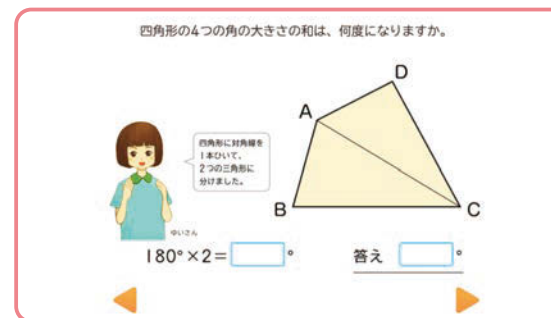
解答表示機能を指導者用だけではなく、  
学習者用デジタル教材にも搭載し  
個別最適な学びの環境を提供します。



豊富なシミュレーションコンテンツが、  
子どもたちの試行錯誤を手助けします。  
※一部指導者用(教材)のみ搭載のコンテンツがあります。



いつでも使える「算数道具箱」を用意しました。  
書き込みに使えるツールや、  
学習の確認に使えるツールです。  
※一部指導者用(教材)のみ搭載のコンテンツがあります。



「自分でみんなで」(⇒本資料 p.24)に  
考えを深めるためのコンテンツを配置。  
協働的な学びをサポートします。

GIGAスクール

校種間の連携

個別最適な学び

教科書の構成

基本方針 1

基本方針 2

基本方針 3

配慮

資料





先生方の日々の授業をサポート！

## 朱書編 すぐに授業に使える指導書

この指導書1冊で、各時間の要点をしっかりおさえることができます。

### 縮刷

解答、指導上の留意点、特別支援等への配慮事項などを掲載しています。

### 縮刷周辺

問題解決的な学習の手助けとなる展開例や評価方法などを示しています。



### 板書例

各時間の板書例を掲載しています。

## 研究編 教材研究に役立つ指導書

指導案を含む豊富な参考資料をもとに、指導計画を立てたり、教材研究を深めたりすることができます。

見開きの詳しい解説と指導案は原則全時間分あります。

### 解説

内容の系統性や評価、デジタルコンテンツの使い方など、各時間の詳しい解説が充実しています。

### 指導案

発問など授業づくりの参考となる丁寧な指導案を掲載しています。

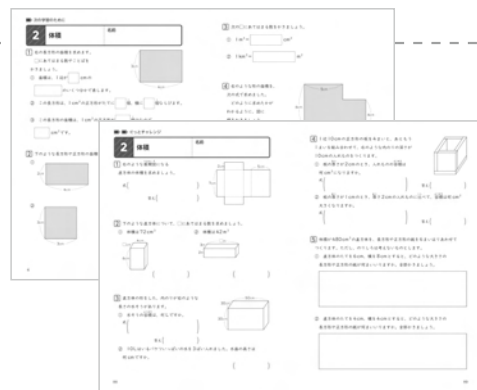


## 資料編 便利なワークシート集

- 単元ごとに「レディネステスト」「評価テスト」「補充ワークシート」「発展ワークシート」を掲載しています。
- 予習、復習、個別学習などの用途に合わせて、コピーしてすぐに使うことができます。

### デジタルデータ集

資料編の評価テスト、ワークシート、教科書の図版集、総ルビ分かち書きデータなどを提供します。



# 心が動く、その先へ。

これが好き。なんでだろう？ もっと、知りたい。  
心が動く、瞬間。それは、「学び」のはじまり。

感じ、考え、想像し、表してみる。  
そこから生まれる、一つひとつが、あなただけのもの。

それを贈り合ったら、うれしくなる。  
心が満ちて、次の「やってみたい」が湧いてくる。  
ほかの誰かと混ざり合ったら、ちがう景色が見えてくる。

そんな学びが、  
あなたの、みんなの世界を耕していく。

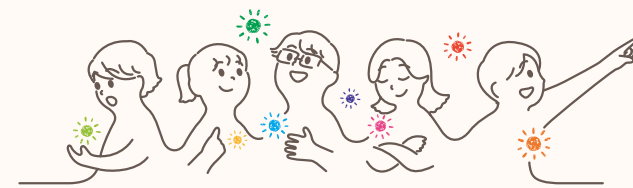
私たちは、学びのはじまりを大切に、  
その先に広がる一人ひとりの未来をともに育みたい。

心が動く、そのそばで。

日本文教出版は創業より、子どもの中に生まれる学びを大切に  
教科書・教材の発行に挑戦してきました。

どんなに時代や社会が変わっても、大切にしたいこと。  
その想いを、志 (Purpose) に込めています。

私たちはこれからも、一人ひとりの心が動く瞬間に寄り添いながら、  
その先に広がる未来をともに育てていきます。





小山 正孝

広島大学大学院教授

飯田 慎司

福岡教育大学学長

石橋 一昂 岡山大学大学院講師  
 伊藤 孝 元大阪府大阪市立大江小学校校長  
 伊藤 優香子 雲雀丘学園小学校教諭  
 稲浦 綾 大阪電気通信大学講師  
 井村 智史 大阪成蹊大学教職キャリアセンター特別講師  
 岩崎 浩 上越教育大学大学院教授  
 岩田 耕司 福岡教育大学准教授  
 上田 和浩 大阪電気通信大学教授  
 上田 喜彦 天理大学教授  
 植村 徳治 近畿大学附属小学校教頭  
 榎本 直人 東京都府中市立府中第五小学校主幹教諭  
 太田 友子 城南学園幼稚園園長  
 大高 成友 東京都大田区立田園調布小学校主幹教諭  
 岡崎 正和 岡山大学大学院教授  
 勝美 芳雄 元帝塚山大学教授  
 加藤 久恵 兵庫教育大学大学院教授  
 川内 充延 兵庫教育大学大学院准教授  
 康 貴利 大阪府大阪市立大桐小学校副校長  
 樹下 堅 奈良佐保短期大学教授  
 木下 有佳里 大阪府豊中市立大池小学校教諭  
 國次 太郎 佐賀大学名誉教授  
 佐々木 徹郎 愛知教育大学名誉教授  
 重松 敬一 奈良教育大学名誉教授  
 清水 紀宏 福岡教育大学教授  
 城田 直彦 帝塚山大学教授  
 鈴木 みどり 元文京学院大学特任教授  
 瀬沼 花子 元玉川大学教授  
 高井 吾朗 愛知教育大学准教授

高橋 一博 奈良県奈良市立鼓阪小学校教諭  
 竹間 光宏 京都教育大学附属京都都中学校教諭  
 土井 孝文 奈良県大和高田市立磐園小学校教諭  
 外山 宏行 近畿大学附属小学校教諭  
 中島 研 神奈川県相模原市立麻溝小学校教諭  
 中原 忠男 広島大学名誉教授  
 中村 真紀絵 東京都御蔵島村立御蔵島中学校副校長  
 西 健明 関西学院初等部教諭  
 西仲 則博 近畿大学准教授  
 萩原 良太 東京都目黒区立上目黒小学校主任教諭  
 長谷川 亮 新潟県新潟市立新津第三小学校教諭  
 濱田 伸 東京都稲城市立稲城第二小学校校長  
 早川 智久 東京都杉並区立浜田山小学校主任教諭  
 平田 智也 神奈川県海老名市立海老名小学校教諭  
 舟本 星怜奈 大阪府豊中市立大池小学校教諭  
 前川 和宏 東京都府中市立南白糸台小学校主幹教諭  
 松下 伸太郎 東京都目黒区立烏森小学校主任教諭  
 松宮 孝明 滋賀文教短期大学准教授  
 水野 裕介 東京都調布市立深大寺小学校主任教諭  
 宮本 泰司 福岡こども短期大学教授  
 森 慎弥 大阪府大阪市立三国小学校指導教諭  
 森田 英嗣 大阪教育大学教授  
 山口 武志 鹿児島大学教授  
 山崎 雅之 東京都江東区立南陽小学校主任教諭  
 山田 篤史 愛知教育大学教授  
 ほか16名  
 日本文教出版株式会社

〈特別支援教育・カラーユニバーサルデザインに関する校閲〉  
 〈防災・安全教育に関する校閲〉  
 〈道徳教育に関する校閲〉

大内 進 星美学園短期大学日伊総合研究所客員研究員  
 河田 恵昭 関西大学特別任命教授  
 島 恒生 畿央大学大学院教授

この冊子は、植物油インキと再生紙を使用しています。

令和6年(2024年)度版 小学校算数科 内容解説資料

116 日文		教科書 記号・番号	
1①	算数 122	1②	算数 123
2上	算数 222	2下	算数 223
3上	算数 322	3下	算数 323
4上	算数 422	4下	算数 423
5		算数 522	
6		算数 622	

本書の無断転載・複製を禁じます。  
 CD22326

**日本文教出版 株式会社**  
<https://www.nichibun-g.co.jp/>

大阪本社 〒558-0041 大阪市住吉区南住吉4-7-5  
 TEL:06-6692-1261 FAX:06-6606-5171  
 東京本社 〒165-0026 東京都中野区新井1-2-16  
 TEL:03-3389-4611 FAX:03-3389-4618  
 九州支社 〒810-0022 福岡市中央区薬院3-11-14  
 TEL:092-531-7696 FAX:092-521-3938  
 東海支社 〒461-0004 名古屋市東区葵1-13-18-7F-B  
 TEL:052-979-7260 FAX:052-979-7261  
 北海道出張所 〒001-0909 札幌市北区新琴似9-12-1-1  
 TEL:011-764-1201 FAX:011-764-0690